履修編

農学部

応用生物科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

短期大学部

『履修編』を読むにあたって

■履修するということ

大学で授業を受けるためには，自ら科目を選び登録しなければなりません。この一連の行為を「履修登録」といいます。「履修登録」していない科目は，試験を受ける資格がありません。また，成績（評価）も付きません。従って，正しく履修登録しないと，進級することも卒業することもできないのです。

この「履修編」は，みなさんが本学で学ぶうえでのガイドブックとして作成しており，カリキュラムや授業・試験などの内容や，さまざまな手続き，決まりごとを掲載しています。履修登録する際には，別途配付した「履修のてびき」を併せて熟読し，自分の将来計画・資格取得等を充分考慮して「履修登録」してください。

本学では，みなさんへの伝達事項（呼び出し･時間割発表など）は，「学生ポータルサイト」，「書類配付」または「掲示」で行っています。まず「学生ポータルサイト」を見る習慣を身に付けてください。また，配付した書類は，必ずよく読んでください。さらに，各種手続き・提出物に関しては，提出期日を必ず守ってください。卒業後，実社会での諸手続きの期限は実に厳格です。この社会に適応する意味においても在学中から**「締切日１日前の提出」**を心がけてください。掲示や配付した書類を読んでもなおわからない場合には，窓口（世田谷キャンパス＝教務課／厚木キャンパス＝学生教務課）で相談してください。

授業科目の履修にあたっては，各自の学習目的及び所属学部・学科の教育目標を十分理解し，それを基本にした上で，慎重に行なってください。

■学生諸君への注意事項

１　「学生ポータルサイト」･「掲示板」を必ず確認すること。

２　配付された書類は熟読すること。

３　履修登録やレポートなどの提出期限を守ること（締切後は受け付けない）。

４　電話での問い合わせは，原則として受け付けない。

５　窓口の業務時間は次のとおり（質問・相談等は業務時間内に行うこと）。

〔平日〕世田谷キャンパス　8：30～19：30　厚木キャンパス　8：30～17：00

※夏季休業等授業を実施していない期間中は，業務時間を変更するので確認すること。

■学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

学部・学科等の短縮名と表示順は次のとおりです。

学部・学科等の短縮名

学　部　名　等	短 縮 名
農学部	**農学部**
農学科	農学
農業生産科学コース	農
園芸生産科学コース	園
畜産学科	畜産
バイオセラピー学科	セラピー
応用生物科学部	**応生学部**
バイオサイエンス学科	バイオ
生物応用化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
地域環境科学部	**環境学部**
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
国際食料情報学部	**国際学部**
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
国際バイオビジネス学科	ビジネス

学　部　名　等	短 縮 名
英語による専門教育プログラム	英語専門
全学共通科目	全学共通
教職課程	教職
学術情報課程	学情

短期大学部	短大部
生物生産技術学科	短生
環境緑地学科	短緑
醸造学科	短醸
栄養学科	短栄

大　　学

■農　　学　　部（厚　木キャンパス）
■応用生物科学部（世田谷キャンパス）
■地域環境科学部（世田谷キャンパス）
■国際食料情報学部（世田谷キャンパス）

授業科目の概要

授業科目は，本学の教育目標を達成するために，次のように分けられ各年次に配当されています。

1　科目の区分

(1) 必修科目：必ず修得しなければならない科目

(2) 選択必修科目：限定された科目群の中から，指定された単位数を修得しなければならない科目

(3) 選択科目：学生の意思により選択し，卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目

2　総合教育科目

(1) 全学共通

① 導入科目：大学での学習と学生生活のための基礎的技能を涵養するための科目

② 課題別科目：農学を多角的視点から理解する学科横断的な科目

③ 英語科目：全学的な英語力の向上のための科目

④ スポーツ関係科目：スポーツを通して健全な身体と体力，精神力を養うための科目

⑤ 就職準備科目：就職への意識高揚と社会に出て役立つ知識を習得するための科目

⑥ 演習科目：少人数教育による思考力，ディスカッション・プレゼンテーション能力を涵養するための科目

(2) 学部共通

① 初修外国語科目：外国の情報・文化の吸収及び情報発信を行う能力を養成するための科目

② リメディアル教育科目（注）：基礎知識向上のための補講科目

※成績評価（「秀」評価を除く）されるが，卒業要件単位及びGPAには含まれません。

3　専門教育科目

(1) 学科基礎科目

① 人間関係科目：社会道徳と倫理観を涵養するための科目

② 社会関係科目：社会の仕組みの基礎知識を得るための科目

③ 自然関係科目：自然科学についての幅広い視野と探究心を養うための科目

(2) 学部専門

① 専門共通科目：農学及び各学部の基礎概念，知識を総合的に把握するための科目

② 創生型科目：分野横断包括型の教育プログラムなど農学的知識と経験を応用し，グループで課題に取組む科目

③ 学際領域科目：学生の興味と複数学科の教育目標に対応する科目

(3) 学科専門

① 専門基礎科目：専門を理解するための基礎となる科目

② 専門コア科目：学生が主体的に専門の課題を探求し，解決する能力と知識を養成するための科目

③ 専門実用科目：教職免許状を取得するために教育職員免許法に基づいて設けられた科目（教職課程履修者のみ履修することができる。ただし、学科の卒業要件に含まれないので注意すること。）

④ 総合化科目：卒業論文，総合演習など

4　オープン開講方式による授業科目

(1) 英語による専門プログラム

(2) 日本語科目

5　資格取得に関する授業科目

(1) 教職課程科目：教職免許状を取得するために教育職員免許法に基づいて設けられた科目

(2) 学術情報課程科目：司書資格，学芸員資格を取得するための科目

単 位 制

大学における単位制とは，授業科目を履修し，その授業科目に与えられた単位を試験等に合格することによって修得する制度です。卒業までに定められた単位数を修得しなければなりません。
各授業科目の単位数は，授業の方法に応じて異なり，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学習等を考慮して次の基準により定められています。

[単位計算基準]

区　　分	単位数	授　業　時　間
講義・演習（外国語を含む）	２単位	２時間（週１コマ）× 15週（半期）
実験・実習・研修・スポーツレクリエーション	１単位	２時間（週１コマ）× 15週（半期）

※１時限（１コマ＝２時間）は90分授業で実施します。

授　　業

１　学期制（セメスター制）

本学では１年間を前学期と後学期の２学期に分け，それぞれの学期の中で各学期配当科目の授業・試験・成績評価を行います。したがって各学期の最終評価が不合格となった科目を履修する場合は，翌年度に再度履修し，授業を受講することになります。

２　授業時間

本学の授業は，90分を１時限として行います。なお，授業の時間区分は次のとおりです。

時限	１時限	２時限	昼休み	３時限	４時限	５時限	６時限
時間 （90分間）	9：00 ～ 10：30	10：40 ～ 12：10	12：10 ～ 13：00	13：00 ～ 14：30	14：40 ～ 16：10	16：20 ～ 17：50	18：00 ～ 19：30

※短期間に行う集中授業及び隔週で行う授業もあります。

３　出席の重要性

授業は，教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問する場であり，学生生活の基本となるものです。また，単位制の基本となる授業時間について定めがあるように，出席状況は成績評価の重要な要素になります。なお，授業を３分の１以上欠席した場合は，定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

４　欠席届

授業をやむを得ない事由で欠席する場合または欠席した場合は，教務課（厚木キャンパスは学生教務課）窓口に置いてある「欠席届」に必要事項を記入の上，授業担当者に直接提出してください（欠席届は学生ポータルサイトからもダウンロードできます）。

なお，学校保健法に規定された伝染病による欠席届は，専用の様式があります。詳細は，p.50の「健康管理」を参照してください。

５　休講

休講の場合は事前に掲示により伝達します。休講の掲示がなく，30分経過しても授業が開始されない場合は，関係窓口で確認してください（休講情報は，学生ポータルサイトでも確認できます）。

６　補講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合には，補講授業を実施することがあります。この場合，授業担当者が指示するほか，学生ポータルサイト・掲示により伝達します。

7　学生による授業評価

本学では授業を改善するために，「学生による授業評価」を実施しています。より良い授業を行うことは授業担当者の責務ですが，内容がきちんと受講生に伝わっているか，理解されているか，あるいは「わかりやすいか」を把握（測定）するためには授業評価を実施して受講生の声を集める必要があります。また，大学全体の授業と比較して自分の授業がどうであるかを把握するためにも授業評価は有効です。より良い授業は，授業担当者と受講生が協力して創り上げるものであるため，授業評価の実施に協力してください。

また，授業に対して意見がある場合は教務課（厚木キャンパスは学生教務課）窓口に置いてある「授業に意見」という用紙を用いて提出することができます。これは日ごろ授業を受けていて感じること，改善してほしいことを大学に伝えるためのものです。提出された意見は十分検討し，改善を図ることになっています。学生ポータルサイトには，大学への要望・提案および授業・研究室，学生生活上の悩み等をメールで受け付ける窓口を開設していますので利用してください。

履　　修

1　履修とは

毎年度はじめに１年間の受講科目を各自が決定し，実際の授業に出席する一連の流れをいいます。

2　履修科目決定までの流れ

(1) 履修計画

履修登録を行うにあたって，１年間の履修計画を立てなければなりません。次の点を考慮し計画してください。

① 各学科の「授業科目配当表」（※後掲），「講義要項（シラバス）」（※別冊）を熟読し，カリキュラムの概要を把握してください。

② **必修科目**は，決められた年次・学期に履修してください。

③ **選択必修科目**は，指定された科目の中から，決められた単位を満たすように履修してください。

④ **選択科目**は，将来志向や資格取得などを考え，卒業要件を満たすように履修してください。

⑤ 進級基準及び卒業基準を超えるように，履修計画を立ててください。

(2) 履修登録

履修登録とは，各自が受講しようとする授業科目について，その意思表示をすることです。また，履修登録は１年間あるいは各学期の履修計画を決める上で最も重要な手続きであり，単位の修得及び卒業には欠かすことのできないものです。履修登録を安易に考え，手続きを怠ったことにより無駄な時間を過ごしてしまうことになりかねません。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って履修登録してください。

なお，履修登録の詳細は「履修のてびき」（別冊）に記載してあります。これを参照し履修登録してください。

(3) 履修の確定

５月中に「履修確定表」を学生ポータルサイトに開示します。この表に記載されている授業科目が当該年度の登録された科目です。登録されていない科目がある場合は，履修修正期間内に手続きしてください。

※後学期配当科目については，後学期授業開始後に登録の変更を認めます。

詳細については「履修のてびき」で確認してください。

３　履修上の注意事項［取決め事項］

(1) 履修登録単位数の制限について

単位を得るためには，定められた時間の学習が必要です。例えば，講義科目の場合，２単位を修得するためには，90時間の学習が必要であり，１回の授業において２時間（２時間×15週間＝30時間）学び，１週間に４時間（４時間×15週間＝60時間）の予習・復習を行うことにより，単位が与えられます。このように履修登録単位数と学習時間は連動しており，登録する単位数が多ければ１週間に学習する時間は比例して増加することになります。

本学では履修登録を行うにあたって，次のように登録できる単位数を制限しています。１週間に学習できる時間数を考えて履修登録してください。また，教職課程科目，学術情報課程科目及びリメディアル科目については，この履修登録単位数の制限から除外します。

１年間に履修登録できる単位数の上限……49単位

各学期に履修登録できる単位数の上限……25単位

例えば前学期に25単位登録した場合には，後学期に登録できる単位数は24単位になります。

※履修登録できる単位数とは，あくまでも登録した科目の総単位数であり，修得できた総単位数ではありませんので，注意してください。

(2) 有料科目について

一度履修して不合格になった科目を再び履修する場合（再履修）は有料になり，１科目につき所定の金額を納付することになります。詳細は「履修のてびき」で確認してください。

(3) 他学部聴講・他学科聴講・大学間聴講について（詳細は「履修のてびき」を参照）

他学部聴講とは他の学部で開講している講義科目を履修すること，他学科聴講とは所属学部内の他の学科の講義科目を履修すること，大学間聴講とは東京農業大学短期大学部の講義科目を履修することです。

・在学中に履修できる単位は合計30単位までです（**合否に関わらず，履修した時点で単位数をカウントします**）。

・修得した単位は，他学部聴講・他学科聴講・大学間聴講・英語による専門プログラム・日本語科目を合わせて30単位まで，卒業要件単位に加えることができます。

・実験・実習・演習・研修科目・栄養科学科専門教育科目の資格必修科目は，履修できません。

・他学部聴講・他学科聴講は，上級学年配当の科目は，履修できません。

・大学間聴講は，必修・選択必修の科目，英語科目，実験・実習・演習科目，学情科目及び栄養学科専門教育科目の資格必修科目は，履修できません。

(4) 大学間の協定による授業科目の履修について（詳細は「履修のてびき」を参照）

東京情報大学との間で協定を締結しており，東京情報大学の授業科目を履修することができます。

この科目は，履修登録単位数の制限には入りません。

試　　験

授業科目の履修状況を評価し，単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては，レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示に従ってください。

受　験　資　格

(1) 当該授業科目が履修登録されていること
(2) 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること（原則として授業日数の 2/3 以上）
(3) 当該学期までの学費その他の納付金を納入していること
※休学期間中に試験を受けることはできない

1　定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は，試験開始１週間前に掲示板・学生ポータルサイトで発表します（実験・実習・演習科目は，原則として「定期試験」を実施しません）。

なお，定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は，指定された期日（試験時間割発表時に掲示）までに欠席の事由（当日の状況など）を証明する書類を持参して試験欠席の手続きを行ってください。この届出により，追試験の受験を認めます。欠席事由と添付提出書類は次のとおりです。

欠　席　事　由	提　出　書　類
病気	医師の診断書（試験当日の健康状態を記載のものに限る） または病院の領収書（日付及び氏名が記載されたもの）
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引（三親等までの親族の死亡）	死亡に関する書類（会葬通知等）
就職試験等	欠席の事由を証明する書類（企業からの文書，メールのプリントアウト等）に，世田谷キャンパスはキャリアセンター，厚木キャンパスはキャリア課が証明したもの ※原則として最終選考（役員面接等）を対象とする。証明が受けられない場合があるので，必ず試験前に担当課にて確認すること。企業説明会は認めない。
災害（水害・火災等）	官公庁による被災証明書

※詳細は関係窓口で確認してください。

2　追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち，指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して各学期末に行う試験です（無料）。従って，本人の不注意による試験の欠席および証明する書類がない場合は，追試験の対象となりません。

※追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

3　定期試験に関する注意事項

○　試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意してください。

○　学生証を所持していない学生は受験できません。なお，当日忘れた場合は，学生課（厚木キャンパスは学生教務課）にて仮学生証の発行を受けてください（有料・当日限り有効）。

○　受験科目が重複した場合は，事前に申し出てください。

○　試験場への入場は，試験開始後20分までとします（試験開始後は，退場できません）。

○　試験場あるいは受験科目・授業担当者の間違い，無記名答案は受験しても無効となります。

○　答案は白紙であっても必ず提出してください。

○　試験場においては，すべて監督者の指示に従わなければなりません。

○　その他試験に関しては，関係窓口へ問い合わせてください。

［試験時間］

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9：00 ～ 9：45	10：00 ～ 10：45	11：00 ～ 11：45	12：00 ～ 12：45	13：00 ～ 13：45	14：00 ～ 14：45

時限	7時限	8時限	9時限	10時限	11時限
時間	15：00 ～ 15：45	16：00 ～ 16：45	17：00 ～ 17：45	18：00 ～ 18：45	19：00 ～ 19：45

4　不正行為について

不正行為（カンニング等）が発覚した場合は，当該学期の評価をすべて無効（未評価）とします。

5　試験に代えて行うレポート提出時の注意事項

＜レポート表紙の様式＞　　A4サイズ

科目名：＿＿＿＿＿＿　担当者：＿＿＿＿＿＿

＜課題＞

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科：＿＿＿＿　学年：＿＿＿　学籍番号：＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

レポートの提出は，担当教員が授業中に提出を求める場合，担当教員が締切期日を指定して研究室等で受け付ける場合，窓口で受け付ける場合等があります。

いずれの場合も**提出締切期限厳守**となっていますので注意してください。レポートの提出に際しては，原則として次の注意事項に従ってください。

○　表紙を含めサイズは，授業担当者の指示がない限りＡ４にしてください。

○　必要事項（科目名・担当者・課題・学科・学年・学籍番号・氏名）をもれなく記載してください。

○　原則として左上角をホッチキスで必ず止めてください。ただし，授業担当者の指示がある場合はそれに従ってください。

○　定められた場所に提出してください。

○　提出期限は厳守してください。

○　表紙のないレポートや，記載内容に不備があるレポートは，無効になる場合があります。

成　績

1　成績評価

成績評価は，「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で，「不可」・「未評価」は不合格です。成績評価の基準は，次の通りです。

成績評価基準のガイドライン

判　定	成　績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合　格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績（履修者の５％以内）
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不　可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

2　GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して，適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため，GPAを算出しています。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は，①「卒業要件に算入できる科目」であって，かつ②「５段階評価によって成績を認定する科目」とし，③「学生が履修登録した科目」とします。したがって，他学科・他学部聴講科目などは含め，教職・学術情報課程及び認定科目は除かれます。

(3) GPAの算出

［学期ごとのGPAの算出方法］

学期ごとのGPA算出は，次の式によります。

$$\frac{\text{（当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP×その科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注１．GPA対象科目で不可（D）及び未評価（F）科目は，分母に含みます。

注２．通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注３．「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は，再履修した当該学期の対象科目に含め，GPAを算出します。

注４．前項の場合，「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

［通算GPAの算出方法］

通算GPAは，在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくもので，その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{（在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP×その科目の単位数）の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注１．通算GPAは毎学期末に算出します。

注２．再履修した場合は１科目としてカウントします（ダブルカウントしない）。

注３．再履修した科目のGPは，最新の評価に基づく値で算出します。

３　履修成績表

各学期に履修した授業科目の成績は，次の学期の授業開始前に履修成績表として学生ポータルサイトにて開示します。

４　成績証明書

成績証明書には，「秀」・「優」・「良」・「可」の合格した授業科目（科目名・単位数・評価）と通算GPAを記載し，不合格の授業科目は記載しません。

５　成績相談

学期毎の成績発表後に実施します。詳細は「履修のてびき」で確認してください。

進　　級

１　１年次から２年次への進級判定（休学者を除く）

１年次終了時に卒業要件に関わる修得単位数が20単位未満の場合に行います（学則第35条第１項第２号に該当するものとみなして退学を命ずることがあります）。

２　２年次から３年次への進級基準（休学者を除く）

２年次終了時に，卒業要件に関わる修得単位数が50単位未満の場合には，３年次への進級を認めません（原級または学則第35条第１項第２号に該当する退学となります）。

３　３年次から４年次への進級基準（休学者を除く）

３年次終了時に，卒業要件に関わる修得単位数が90単位未満の場合には，４年次への進級を認めません（原級または学則第35条第１項第２号に該当する退学となります）。

４　進級者の発表

年度末（３月中旬）に進級確定者を掲示板で発表します。

在学期間

本学に在学できる期間は，休学期間を除いて８年です。

卒業・学位記

1　卒業要件

卒業に必要な単位数は「124単位」です。

[学部・学科別卒業要件単位数]

学部名	学　科　名	必修科目	選択必修科目	選択科目	合　計
農学部	農学科（農業生産科学コース）	63	12	49	124
	農学科（園芸生産科学コース）	63	12	49	124
	畜産学科	73	12	39	124
	バイオセラピー学科	55	12	57	124
応用生物科学部	バイオサイエンス学科	90	8	26	124
	生物応用化学科	79	8	37	124
	醸造科学科	83	8	33	124
	食品安全健康学科	91	10	23	124
	栄養科学科	87	8	29	124
地域環境科学部	森林総合科学科	60	12	52	124
	生産環境工学科	68	12	44	124
	造園科学科	75	20	29	124
国際食料情報学部	国際農業開発学科	59	12	53	124
	食料環境経済学科	59	12	53	124
	国際バイオビジネス学科	66	16	42	124

※詳細は各学科の授業科目配当表を参照のこと。

2　学位記

卒業生には，次のとおり学士の学位を授与します。また卒業時に学位記を授与します。

学　　部	学　　科	学　　位
農　　学　　部	全　学　科	学　士（農　　学）
応用生物科学部	全　学　科	学　士（応用生物科学）
地域環境科学部	全　学　科	学　士（地域環境科学）
国際食料情報学部	全　学　科	学　士（国際食料情報学）

3　９月卒業

次の各項目をすべて満たす場合は，９月30日付で卒業することができます。

・９月30日までに卒業要件単位を満たしていること（９月30日までに卒業論文の評価が合格になった場合を含む）。

・９月30日で４年間在学していること。

・４年次を通算で１年間以上在籍していること。

・該当学生が９月卒業を希望していること。

そ　の　他

1　学生への連絡と掲示

学生への通知や連絡は，学生ポータルサイト・掲示によって行います。休講，補講，教室変更，時間変更，手続書類不備の呼出し等を掲示しますので，必ず毎日学生ポータルサイトを見る習慣をつけてください。

※電話による問い合せ（行事予定・試験・休講等）は，受け付けていません。学生ポータルサイトで確認するか，関係窓口で直接聞いてください。

2　窓口での相談・質問等

履修に関する相談，試験に関する質問，レポートの提出，呼び出し応答など修学に必要な事項の相談・質問は，窓口へ申し出てください。

なお，提出期限のある手続き（レポート提出等）は，受付期間・時間を厳守してください（期限に遅れた場合は受け付けません）。

窓口受付時間（夏季休業等授業を実施していない期間中は時間を変更するので確認のこと）

〔平日〕世田谷キャンパス　8：30～19：30　　厚木キャンパス　8：30～17：00

※時間外は受け付けません。

授業科目配当表

農学部
農学科（農業生産科学コース）

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2		F2			
				英会話(二)	2		L2			
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2				F2	
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2		F2			
				中国語(二)	2		L2			
				ドイツ語(一)	2		F2			
				ドイツ語(二)	2		L2			
				フランス語(一)	2		F2			
				フランス語(二)	2		L2			
				スペイン語(一)	2		F2			
				スペイン語(二)	2		L2			
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		L1			
				インターンシップ	1			1		
				ビジネスマナー	1			F1		
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎数学	2	L2				
				文章表現	2	L2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門基礎科目	必	農学原論	2	F2				農
				環境科学	2			F2		理化
				生物化学	2		L2			理化
				動物福祉	2		L2			
				動植物園論	2			L2		理生
				健康福祉概論	2	F2				
				心理学概論	2	L2				
				知的財産論	2			F2		
		創生型科目		実学的生命活用	2			1		
				農業ビジネスデザイン(一)	2	F2				農
				農業ビジネスデザイン(二)	2	L2				農
		学際領域科目		農業経営学	2			F2		農
				植物生理生態学	2		L2			理生
				植物生長調節論	2			L2		理生
				生命科学	2			F2		理生
				分子生物学	2			L2		理生
				自然再生技術論	2			F2		理生
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	生命倫理	2		L2			理生
				科学と哲学	2			F2		
				芸術	2	F2				
				文化人類学	2		F2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	L2				必
				経済入門	2	F2				
				現代社会の諸問題	2		L2			
				国際関係を考える	2		F2			
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				(理生)
				化学	2	F2				(理化)
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				(理物)
				地学	2		F2			(理地)
	学科専門	専門基礎科目		実験計画法	2			F2		理生
				農業気象学	2		F2			理地
			必	作物生産学	2	F2				農
			必	土壌学	2	F2				農
				植物栄養学	2		F2			理生
			必	遺伝学	2	F2				理生
			必	育種学	2	L2				理生
			必	植物病理学	2	L2				理生
			必	昆虫学	2	L2				理生
			必	園芸学(一)	2	F2				農
			必	園芸学(二)	2	L2				農
			必	生物学実験	2		2			(理生)

平成26年４月改正

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は,教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
63単位	12単位	49単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。

2　学科基礎科目の人間関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。

3　学科基礎科目の社会関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。

4　学科基礎科目の自然関係科目は５科目中から２科目を選び必修とする。

5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）

6　学科専門－専門基礎科目の「農業実習（一）」は，夏季集中に開講する。

7　学科専門－専門基礎科目の「生物学実験」及び「農業実習（二）」は，隔週で通年開講する。

8　学科専門－専門コア科目の「実験（一）」及び「実験（二）」は，各自が所属する専攻の実験科目を必修とする。

9　学科専門－総合化科目の「演習（一）」・「演習（二）」・「演習（三）」・「演習（四）」は，各自が所属する専攻の演習科目を必修とする。

10　農業生産科学コースの学生は，園芸生産科学コースの次の専門コア科目について，自コースの選択科目として履修することができる。

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目	必	農業実習(一)	2	2				農
			必	農業実習(二)	2		2			農
				雑草学	2			F2		農
				農産物マーケティング論	2			L2		農
				植物防疫論	2			L2		理化
		専門コア科目		食用作物学(一)	2		F2			農
				食用作物学(二)	2		L2			農
				工芸作物学	2		L2			農
				草地・飼料作物学	2		L2			農
				植物育種学	2		L2			農
				植物病原微生物学(一)	2		F2			理生
				植物病原微生物学(二)	2			F2		理生
				昆虫生態学	2			L2		理生
				昆虫分類学	2		L2			理生
				昆虫機能利用学	2			L2		農
			必	作物学実験(一)	2			F4		農
				遺伝育種学実験(一)						理生
				植物病理学実験(一)						理生
				昆虫学実験(一)						理生
			必	作物学実験(二)	2			F4		農
				遺伝育種学実験(二)						理生
				植物病理学実験(二)						理生
				昆虫学実験(二)						理生
		総合化科目	必	作物学演習(一)	4			F4		農
				遺伝育種学演習(一)						理生
				植物病理学演習(一)						理生
				昆虫学演習(一)						理生
			必	作物学演習(二)	4			L4		農
				遺伝育種学演習(二)						理生
				植物病理学演習(二)						理生
				昆虫学演習(二)						理生
			必	作物学演習(三)	4				F4	農
				遺伝育種学演習(三)						理生
				植物病理学演習(三)						理生
				昆虫学演習(三)						理生
			必	作物学演習(四)	4				L4	農
				遺伝育種学演習(四)						理生
				植物病理学演習(四)						理生
				昆虫学演習(四)						理生
			必	卒業論文	4				4	

園芸生産科学コース

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目		果樹園芸学	2		F2			農
				果樹栽培論	2		L2			農
				野菜園芸学	2		F2			農
				野菜栽培論	2		L2			農
				花卉園芸学	2		F2			農
				花卉栽培論	2		L2			農
				バイオナーサリー論	2		F2			理生
				園芸環境植物学	2		F2			農
				ポストハーベスト論	2		L2			農

農学部
農学科（園芸生産科学コース）

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2		F2			
				英会話(二)	2		L2			
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2				F2	
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2		F2			
				中国語(二)	2		L2			
				ドイツ語(一)	2		F2			
				ドイツ語(二)	2		L2			
				フランス語(一)	2		F2			
				フランス語(二)	2		L2			
				スペイン語(一)	2		F2			
				スペイン語(二)	2		L2			
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		L1			
				インターンシップ	1			1		
				ビジネスマナー	1			F1		
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎数学	2	L2				
				文章表現	2	L2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門基礎科目	必	農学原論	2	F2				農
				環境科学	2			F2		理化
				生物化学	2		L2			理化
				動物福祉	2		L2			
				動植物園論	2			L2		理生
				健康福祉概論	2	F2				
				心理学概論	2	L2				
				知的財産論	2			F2		
		創生型科目		実学的生命活用	2			1		
				農業ビジネスデザイン(一)	2	F2				農
				農業ビジネスデザイン(二)	2	L2				農
		学際領域科目		農業経営学	2			F2		農
				植物生理生態学	2		L2			理生
				植物生長調節論	2			L2		理生
				生命科学	2			F2		理生
				分子生物学	2			L2		理生
				自然再生技術論	2			F2		理生
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	生命倫理	2		L2			理生
				科学と哲学	2			F2		
				芸術	2	F2				
				文化人類学	2		F2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	L2				必
				経済入門	2	F2				
				現代社会の諸問題	2		L2			
				国際関係を考える	2		F2			
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				(理生)
				化学	2	F2				(理化)
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				(理物)
				地学	2		F2			(理地)
	学科専門	専門基礎科目		実験計画法	2			F2		理生
				農業気象学	2		F2			理地
			必	作物生産学	2	F2				農
			必	土壌学	2	F2				農
				植物栄養学	2		F2			理生
			必	遺伝学	2	F2				理生
			必	育種学	2	L2				理生
			必	植物病理学	2	L2				理生
			必	昆虫学	2	L2				理生
			必	園芸学(一)	2	F2				農
			必	園芸学(二)	2	L2				農
			必	生物学実験	2		2			(理生)

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目	必	農業実習(一)	2	2				農
			必	農業実習(二)	2		2			農
				雑草学	2			F2		農
				農産物マーケティング論	2			L2		農
				植物防疫論	2			L2		理化
		専門コア科目		果樹園芸学	2		F2			農
				果樹栽培論	2		L2			農
				野菜園芸学	2		F2			農
				野菜栽培論	2		L2			農
				花卉園芸学	2		F2			農
				花卉栽培論	2		L2			農
				バイオナーサリー論	2		F2			理生
				園芸環境植物学	2		F2			農
				ポストハーベスト論	2		L2			農
			必	園芸生産実験(一) 園芸機能開発実験(一)	2			F4		農
			必	園芸生産実験(二) 園芸機能開発実験(二)	2			L4		農
		総合化科目	必	園芸生産演習(一) 園芸機能開発演習(一)	4			F4		農
			必	園芸生産演習(二) 園芸機能開発演習(二)	4			L4		農
			必	園芸生産演習(三) 園芸機能開発演習(三)	4				F4	農
			必	園芸生産演習(四) 園芸機能開発演習(四)	4 4				L4	農
			必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は,教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
63単位	12単位	49単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係科目は５科目中から２科目を選び必修とする。
5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）
6　学科専門－専門基礎科目の「農業実習（一）」は，夏季集中に開講する。
7　学科専門－専門基礎科目の「生物学実験」及び「農業実習（二）」は，隔週で通年開講する。
8　学科専門－専門コア科目の「実験（一）」及び「実験（二）」は，各自が所属する専攻の実験科目を必修とする。
9　学科専門－総合化科目の「演習（一）」・「演習（二）」・「演習（三）」・「演習（四）」は，各自が所属する専攻の演習科目を必修とする。
10　園芸生産科学コースの学生は，農業生産科学コースの次の専門コア科目について，自コースの選択科目として履修することができる。

農業生産科学コース

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目		食用作物学(一)	2		F2			農
				食用作物学(二)	2		L2			農
				工芸作物学	2		L2			農
				草地・飼料作物学	2		L2			農
				植物育種学	2		L2			農
				植物病原微生物学(一)	2		F2			理生
				植物病原微生物学(二)	2			F2		理生
				昆虫生態学	2			L2		理生
				昆虫分類学	2		L2			理生
				昆虫機能利用学	2			L2		農

農学部
畜産学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2		F2			
				英会話(二)	2		L2			
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2				F2	
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2		F2			
				中国語(二)	2		L2			
				ドイツ語(一)	2		F2			
				ドイツ語(二)	2		L2			
				フランス語(一)	2		F2			
				フランス語(二)	2		L2			
				スペイン語(一)	2		F2			
				スペイン語(二)	2		L2			
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		L1			
				インターンシップ	1			1		
				ビジネスマナー	1			F1		
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎数学	2	L2				
				文章表現	2	L2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門基礎科目	必	農学原論	2	F2				農
				環境科学	2			F2		理化
				生物化学	2		L2			理化
				動物福祉	2		L2			
				動植物園論	2			L2		理生
				健康福祉概論	2	F2				
				心理学概論	2	L2				
				知的財産論	2			F2		
		創生型科目		実学的生命活用	2			1		
				農業ビジネスデザイン(一)	2	F2				農
				農業ビジネスデザイン(二)	2	L2				農
		学際領域科目		農業経営学	2			F2		農
				植物生理生態学	2		L2			理生
				植物生長調節論	2			L2		理生
				生命科学	2			F2		理生
				分子生物学	2			L2		理生
				自然再生技術論	2			F2		理生
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	生命倫理	2		L2			理生
				科学と哲学	2			F2		
				芸術	2	F2				
				文化人類学	2		F2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	L2				必
				経済入門	2	F2				
				現代社会の諸問題	2		L2			
				国際関係を考える	2		F2			
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				(理生)
				化学	2	F2				(理化)
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				(理物)
				地学	2		L2			(理地)
	学科専門	専門基礎科目	必	★☆畜産概論	2	F2				農
			必	★☆動物解剖組織学	2	F2				理生
			必	化学実験	2	L2				(理化)
			必	★生物学実験	2	L2				(理生)
			必	生化学	2	L2				理化
			必	生物統計学	2		L2			理生
			必	★畜産実習(一)	1	F2				農
			必	★畜産実習(二)	1			F2		農
			必	畜産実習概論	2	F2				農
			必	☆家畜品種論	2	F2				農
				特用家畜論	2			L2		農
				実験動物学	2	F2				理生

分野				区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目			☆ 家畜栄養学	2	F2				理生
					家畜微生物学	2			L2		理生
					☆ 草地学	2		F2			農
					食品衛生学	2			L2		理生
					★ 動物発生工学	2			F2		理生
					畜産関連法規	2			L2		農
			生命科学分野の科目	必	★☆ 動物生殖学(一)	2		F2			理生
				必	★☆ 動物生殖学(二)	2		L2			理生
					★ 生殖補助技術論	2			F2		農
				必	★☆ 動物遺伝育種学(一)	2		F2			理生
				必	★☆ 動物遺伝育種学(二)	2		L2			理生
					動物遺伝資源学	2		F2			理生
				必	☆ 動物生理学(一)	2	L2				理生
				必	☆ 動物生理学(二)	2		F2			理生
					動物免疫学	2			F2		理生
					動物生理化学	2			L2		理生
			生産科学分野の科目	必	★ 動物飼養学(一)	2		F2			農
				必	★ 動物飼養学(二)	2		L2			農
					☆ 飼料学	2	L2				農
					★☆ 家畜管理学	2	L2				農
				必	☆ 畜産物利用学(一)	2		F2			農
				必	☆ 畜産物利用学(二)	2		L2			農
					食品微生物学	2		L2			農
					動物性食品機能学	2			F2		農
				必	☆ 動物衛生学(一)	2		F2			農
				必	☆ 動物衛生学(二)	2		L2			農
				必	☆ 動物産業経営学(一)	2		F2			農
				必	☆ 動物産業経営学(二)	2		L2			農
					市場流通論	2			F2		農
		総合化科目		必	畜産学実験実習・演習(一)	2		F4			農
				必	畜産学実験実習・演習(二)	2			2		農
				必	畜産学実験実習・演習(三)	2				2	農
				必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は,教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
73単位	12単位	39単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。

2　学科基礎科目の人間関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。

3　学科基礎科目の社会関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。

4　学科基礎科目の自然関係科目は５科目中から２科目を選び必修とする。

5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）

6　★は，家畜人工授精師（家畜人工授精ならびに家畜体内受精卵移植及び家畜体内受精卵移植）に関わる講習会受講資格に必要な科目である。

7　☆は，食品衛生管理者･食品衛生監視員の資格（いずれも任用資格）に必要な科目である。
☆の科目のうち選択科目は，次の４科目（①～④）のうち２科目以上を必ず修得すること。
①家畜栄養学　②飼料学　③家畜管理学　④草地学

8　学科専門－専門基礎科目の「畜産実験（一）」は，集中で開講する。

9　学科専門－専門基礎科目の「畜産実習（二）」は，研究室ごと集中で開講する。

10　学科専門－専門基礎科目の「化学実習」･「生物学実験」は，隔週で開講する。

11　学科専門－総合化科目の「畜産学実験実習・演習（二）」･「畜産学実験実習・演習（三）」は，隔週で通年開講する。

農学部
バイオセラピー学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2		F2			
				英会話(二)	2		L2			
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2				F2	
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2		F2			
				中国語(二)	2		L2			
				ドイツ語(一)	2		F2			
				ドイツ語(二)	2		L2			
				フランス語(一)	2		F2			
				フランス語(二)	2		L2			
				スペイン語(一)	2		F2			
				スペイン語(二)	2		L2			
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		L1			
				インターンシップ	1			1		
				ビジネスマナー	1			F1		
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎数学	2	L2				
				文章表現	2	L2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	農学原論	2	F2				農
				環境科学	2			F2		理化
				生物化学	2		L2			理化
				動物福祉	2		L2			
				動植物園論	2			L2		理生
				健康福祉概論	2	F2				
				心理学概論	2	L2				
				知的財産論	2			F2		
		創生型科目		実学的生命活用	2			1		
				農業ビジネスデザイン(一)	2	F2				農
				農業ビジネスデザイン(二)	2	L2				農
		学際領域科目		農業経営学	2			F2		農
				植物生理生態学	2		L2			理生
				植物生長調節論	2			L2		理生
				生命科学	2			F2		理生
				分子生物学	2			L2		理生
				自然再生技術論	2			F2		理生
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	生命倫理	2		L2			理生
				科学と哲学	2			F2		
				芸術	2	F2				
				文化人類学	2		F2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	F2				必
				経済入門	2	F2				
				現代社会の諸問題	2		L2			
				国際関係を考える	2		F2			
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				(理生)
				化学	2	F2				(理化)
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				(理物)
				地学	2		L2			(理地)
	学科専門	専門基礎科目	必	バイオセラピー概論	2	F2				
			必	生物学実験	2		2			(理生)
				化学実験	2		L4			(理化)
			必	植物共生学	2	F2				理生
			必	人間植物関係学	2	L2				農
			必	野生動物学	2	F2				理生
			必	伴侶動物学	2	L2				理生
			必	動物介在療法学(一)	2	L2				農
			必	植物介在療法学(一)	2	F2				農
				ボランティア論	2	F2				
				生物保全学	2		L2			理生
				家畜生理・生体機構学	2		F2			農

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目		遺伝学	2	F2				理生
				人体生理学	2		L2			
				生物統計学	2			F2		理生
				生物環境関係法規	2			L2		
				動物行動学	2			L2		理生
				小児発達と生き物	2	L2				
			必	農業実習(一)	2	F2				農
			必	農業実習(二)	2	L2				農
				民族植物学	2			F2		
		専門コア科目 植物共生分野の科目		有用植物資源学	2		L2			理生
				植物系統・進化学	2		F2			理生
				植物形態・分類学	2			L2		理生
				社会園芸学	2		F2			農
				都市園芸学	2		L2			農
				野菜・草花の育て方	2			L2		農
				果樹・樹木の育て方	2		L2			農
				ハーブの育て方	2		F2			農
		専門コア科目 動物共生分野の科目		野生動物生態学	2	L2				理生
				動物資源学	2			L2		
				動物形態・分類学	2			F2		理生
				伴侶動物ブリーディング論	2			F2		理生
				家畜管理学	2		F2			農
				家畜栄養学	2		F2			農
		専門コア科目 生物介在療法分野の科目		植物介在療法学(二)	2		F2			農
				園芸植物活用法	2			F2		農
				動物介在療法学(二)	2			F2		農
				介在療法動物論	2		F2			農
				リハビリテーション医学概論	2		L2			
				社会福祉概論	2		L2			
				療法の場の設計	2		F2			農
				生物介在療法評価法	2		L2			農
				看護・介護概論	2		F2			
		総合化科目	必	分野別基礎実験・実習	2		2			
			必	分野別実験・実習・演習	6			6		
			必	分野別応用実験・実習・演習	6				6	
			必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目,選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の○は,教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
55単位	12単位	57単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目・植物介在療法特別プログラムで修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。

2　学科基礎科目の人間関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。

3　学科基礎科目の社会関係科目は４科目中から２科目を選び必修とする。

4　学科基礎科目の自然関係科目は５科目中から２科目を選び必修とする。

5　総合教育科目の初修外国語は在学中１ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）

6　学科専門－専門基礎科目の「農業実習（二）」は，一部を集中に開講する。

7　学科専門－専門基礎科目の「生物学実験」と総合化科目の「分野別基礎実験・実習」は，隔週で通年開講する。

8　学科専門－総合化科目の「分野別実験・実習・演習」・「分野別応用実験・実習・演習」は，隔週で通年開講する。

平成26年４月改正

植物介在療法特別カリキュラム

１．カリキュラム設置の目的

時代の急激な変化や諸々の社会問題は，人々に大きなストレスや焦燥感を与え，現代社会では，こころに関係する病が増加しています。一方，生き物は人々の心を和ませ，安らぎや快感，活力．生気を与え，交流の場を創り出します。そこで，これまでの経済主導型の農学ではなく，人々の心身の健康の回復や維持・増進，さらには癒しなど，新たな生き物の役割が注目され始めました。高齢者や障害者のほか，療法的支援を必要とする人々を対象とした，生き物の療法的活用（生物介在療法）が全国各地の福祉施設や医療機関で注目され、その専門家の育成が早急に望まれています。

このような社会状況をうけ，本特別カリキュラムでは，医療・福祉・教育分野で活躍できる，植物を活用した生物介在療法を社会で啓蒙・普及実践できる人材を育成することが目的です。

植物介在療法分野においては，日本園芸療法学会と連携し，学会認定資格（認定登録園芸療法士，専門認定登録園芸療法士）取得のための教育体制を整備しています。

２．内容

療法的支援が必要な方は，各々に医学的疾患，障害の種類・程度もさまざまです。そのうえ，個々に異なる人生観・生活背景があるため，園芸療法士は個々の対象者と対面しながら，固有の状況，状態，情報を統合し，現実のなかで実践的に問題を解決する能力が必要となります。本カリキュラムは，学内教育および学外実習で構成しており，学生は，園芸療法分野，園芸学分野，医療・福祉分野・マネージメント分野を学際的に学び，その学んだことを社会で実践するために学外実習へ臨みます。

学外実習では，高齢者福祉施設，精神科医療施設，小児医療施設などの関連施設で実際に専門認定登録園芸療法士から指導を受け，学生自らが対象者の方や社会問題と向き合います。学外実習で得た新たな知識や課題は，学内教育で整理して学び直し，新たな目的をもって次の実習へ臨みます。このように，学内教育と学外実習を連動して実施することにより，柔軟な思考と的確な問題解決の力を育む教育カリキュラムを提供しています。

３．開講科目

植物介在療法特別カリキュラム	授業科目	単位数	配当学年	配当学期	授業科目	単位数	配当学年	配当学期
	カウンセリング論	2	3	L	生物によるリハビリテーション	2	3	L
	コミュニケーション論	2	3	F	植物のふやし方	2	3	F
	医療・福祉政策	2	3	F	療法用植物の栽培	2	3	L
	医学一般	2	3	F	園芸療法実習(一)	2	3	T
	人間生物関係の精神医学	2	3	F	園芸療法実習(二)	2	3	T
	生き物による作業療法	2	3	F	園芸療法実習(三)	6	4	T

※配当科目学期欄のFは前学期，Lは後学期，Tは通年科目を表します。

４．本カリキュラムの特色

１）開講の対象

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象としたカリキュラムで，開講学年は３・４年次となります。

２）受講の条件について

原則として学科開講の基礎科目（下記９科目）を２年次までに修得していることが条件となります。ただし，正当な理由（編入生，教職課程の授業と重なるなど）により，すべての単位が履修できていない学生，他学科・他学部で関連基礎科目をすでに習得している学生などは，条件により受講を認める場合があります。

【２年次までに修得しておくべき学科開講科目】

植物介在療法（一），植物介在療法（二），生物介在療法評価法，看護・介護概論，リハビリテーション医学概論，社会福祉概論，健康福祉概論，心理学概論，療法の場の設計

３）授業の開講について

各講義科目（関係科目）は，原則として各学期で週１時限（１コマ90分）開講の２単位です。園芸療法実習を除き厚木キャンパスで開講します。

４）実習について

園芸療法実習は，３年次の短期実習と４年次の長期実習で構成されています。

①短期実習（３年次）

園芸療法実習（一）：医療・福祉施設での短期実習および園芸療法基礎実習

園芸療法実習（二）：医療・福祉施設での短期実習および評価実習

②長期実習（４年次）

園芸療法実習（三）：医療・福祉施設での長期実習（30日間×２施設）

【注意事項】

４年次の長期実習を受講するためには，植物介在療法特別カリキュラムの３年次開講科目をすべて修得していることが条件となります。なお，実習先と期間は，学生の適性や希望を考慮したうえで決定します。実習前に実施する個別面談や実習オリエンテーションに不参加の場合は，受講できない場合があります。

５）修得単位数について

本カリキュラムによる修得単位は，他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。

６）その他

園芸療法実習（一），（二），（三）にかかる交通費は，実習生負担となります。なお，園芸療法実習（三）の長期実習には実習先に支払う委託管理費（実習指導料）がかかります。また，長期実習先が遠隔地の場合は宿舎が利用できますが，利用料は実習受入施設によって異なります。

科目名	実習地	委託管理費（実習指導料）	施設利用料（宿舎利用料）	生活費・光熱水費
園芸療法実習（一）	東京都・神奈川県	—	—	—
園芸療法実習（二）	東京都・神奈川県	—	—	—
園芸療法実習（三）	神奈川県・愛知県など	400円／日×30日×2施設	10,000～15,000円／月	実費

＊上記は現在の実習指導料および施設利用料です。金額は年度によって多少変動する場合があります。

５．園芸療法士の資格取得について

バイオセラピー学科で所定の単位と本カリキュラムを修得し，日本園芸療法学会が定める学会所属年数を満たすことで，日本園芸療法学会「認定登録園芸療法士」の受験資格が得られます。認定登録園芸療法士とは，園芸療法に必要とされる，園芸療法，園芸，医療、福祉，マネージメントの分野での，一定水準の知識と技術を持ち，対象者の全人的QOLの向上に関わることのできる者です（日本園芸療法学会ホームページ）。

なお，「専門認定登録園芸療法士」の受験資格には，５分野78単位（園芸療法10単位，園芸学関連40単位，医療関連20単位，福祉４単位，マネージメント４単位）の修得が必要となります。資格取得をめざす人は４年間で必要単位を取得するように各自で計画してください。高度な知識と技術を習得するために，卒業後2,000時間の実務経験（バイオセラピー学専攻博士前期課程の演習などで対応可能）を経る必要があります。

なお，資格認定基準は変更になる可能性があります。資格取得をめざす学生は，日本園芸療法学会ホームページ

http://www.jhta2008.join-us.jp/index.html　を参照してください。

６．履修上の注意事項

本カリキュラムは農学部バイオセラピー学科の学生を対象とします。他学部・他学科の学生は履修できません。

応用生物科学部
バイオサイエンス学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2	F2				
				TOEIC英語(二)	2	L2				
				英会話(一)	2	L2				
				英会話(二)	2		F2			
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目		生命科学	2			L2		理生
				環境科学	2			L2		

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	創生型科目		食育コース	2			L2		
		学際領域科目		進化論	2		F2			農
				起業論	2			L2		
				知的財産概論	2			L2		
				生産経営概論	2			L2		農
				食品工学概論	2			F2		農
				生物工学概論	2		L2			理生
				バイオプロセス工学概論	2			F2		農
				機器分析学概論	2			F2		理化
				科学メディア論	2			L2		
	学科基礎科目	人間関係科目	必	生命倫理	2	L2				
			選必	科学と哲学	2	F2				
				農と科学の歴史	2	L2				
				心の構造	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		F2			必
				法と社会	2		F2			
				経済入門	2		L2			
				現代の環境問題	2		L2			
		自然関係科目	必	生物学	2	F2				理生
			選必	化学	2	F2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	L2				理地
				統計学	2	L2				
	学科専門	専門基礎科目	必	無機化学	2	F2				理化
			必	有機化学	2	F2				理化
			必	生物統計学	2	F2				
			必	細胞生物学	2	L2				理生
			必	分子生物学概論	2	L2				農
			必	生化学	2	L2				理化
			必	生物物理化学	2	L2				理化
			必	分子生物学(一)	2		F2			農
			必	食品化学	2		F2			農
			必	無機化学実験	3		F6			理化
			必	有機化学実験	3		F6			理化
			必	分子生物学(二)	2		L2			農
			必	微生物学実験	3		L6			理生
			必	生化学実験	3		L6			理化
			必	基礎生物学実験(一)	3		L6			理生
			必	基礎生物学実験(二)	3			F6		理生
			必	バイオサイエンス専攻実験(一)	3			F6		理生

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目	必	バイオサイエンス専攻実験(二)	2			L4		
			必	英語論文講読	2			L2		
				数学	2	F2				
				分子遺伝学	2			F2		農
				食品製造学	2		L2			農
				アイソトープ利用論	2			F2		
				生命情報科学	2			F2		
				生物制御学	2			L2		
				生体制御学	2			L2		
				食品加工実習	1			F2		
		専門コア科目	必	微生物学	2		F2			
			必	微生物工学	2		L2			農
			必	食品衛生学	2			F2		農
			必	植物生理学	2		F2			理生
			必	植物細胞工学	2		L2			農
			必	生物資源環境科学	2		F2			農
			必	動物生理学	2		F2			理生
			必	動物細胞工学	2		L2			農
			必	栄養生化学	2			L2		農
			必	生物有機化学	2	L2				理化
			必	生体高分子化学	2		L2			農
				微生物バイオテクノロジー	2			F2		農
				植物生物学	2	L2				
				動物発生工学	2			F2		農
				実験動物学	2			F2		農
				免疫学	2			F2		
		総合化科目	必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
90単位	8単位	26単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，選択必修科目の３科目中から１科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，選択必修科目の４科目中から１科目を選び必修とする。
5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる。（複数の外国語の履修は認めない）

応用生物科学部
生物応用化学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2	F2				
				TOEIC英語(二)	2	L2				
				英会話(一)	2	L2				
				英会話(二)	2		F2			
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目		生命科学	2			L2		理生
				環境科学	2			L2		

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	創生型科目		食育コース	2			L2		
		学際領域科目		進化論	2		F2			農
				起業論	2			L2		
				知的財産概論	2			L2		
				生産経営概論	2			L2		農
				食品工学概論	2			F2		農
				生物工学概論	2		L2			理生
				バイオプロセス工学概論	2			F2		農
				機器分析学概論	2			F2		理化
				科学メディア論	2			L2		
	学科専門	学科基礎科目 人間関係科目	必	生命倫理	2	F2				
			選必	科学と哲学	2	F2				
				農と科学の歴史	2	L2				
				心の構造	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		F2			必
				法と社会	2		F2			
				経済入門	2		L2			
				現代の環境問題	2		L2			
		自然関係科目	必	生物学	2	F2				理生
			選必	化学	2	F2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	L2				理地
				統計学	2	L2				
		専門基礎科目	必	無機化学(一)	2	F2				理化
			必	無機化学(二)	2	L2				理化
			必	有機化学(一)	2	F2				理化
			必	有機化学(二)	2	L2				理化
			必	生物化学(一)	2	L2				理化
			必	生物化学(二)	2		F2			理化
			必	分子生物学	2		F2			農
			必	細胞生物学	2		L2			農
			必	微生物学	2		F2			理生
			必	食品化学(一)	2		F2			農
			必	無機化学実験	3	L6				理化
			必	分析化学実験	3	L6				理化
			必	有機化学実験	3	L6				理化
			必	生物化学実験	3		L6			理化
			必	食品化学実験	3		L6			農
			必	微生物学実験	3		L6			理生

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	必	生物有機化学	2		F2			理化
			必	環境化学	2		F2			理化
			必	土壌学	2			F2		農
			必	肥料･植物栄養学	2			F2		農
			必	植物生理学	2		L2			農
			必	応用微生物学	2			F2		理生
			必	栄養生理化学	2			F2		農
			必	食品製造学	2			F2		農
			必	食品衛生学	2			L2		農
				資源再生論	2	F2				農
				生態学概論	2	F2				
				食品化学(二)	2		L2			農
				実験データー解析概論	2			F2		
				食品製造実習	2			F4		農
				生物応用化学特論(一)	1			L1		農
				生物応用化学特論(二)	1			L1		農
				生物応用化学特論(三)	1			L1		理生
				生物応用化学特論(四)	1			L1		理化
				生物応用化学特論(五)	1			L1		農
				生物応用化学特論(六)	1			L1		農
				研究室演習(一)	2			F2		
				研究室演習(二)	2			L2		
				生物応用化学実験(応用微生物学実験)	2			F4		農
				生物応用化学実験(食料資源理化学実験)	2			F4		農
				生物応用化学実験(栄養生化学実験)	2			F4		農
				生物応用化学実験(生産環境化学実験)	2			F4		農
				生物応用化学実験(植物生産化学実験)	2			F4		農
				生物応用化学実験(生物制御化学実験)	2			F4		農
		総合化科目	必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す(空白は選択科目)。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
79単位	8単位	37単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，選択必修科目の３科目中から１科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，選択必修科目の４科目中から１科目を選び必修とする。
5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
6　生物応用化学実験は、所属研究室担当実験の単位のみを修得すること（複数履修は認めない）。

応用生物科学部
醸造科学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2	F2				
				TOEIC英語(二)	2	L2				
				英会話(一)	2	L2				
				英会話(二)	2		F2			
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目		生命科学	2			L2		理生
				環境科学	2			L2		

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	創生型科目		食育コース	2			L2		
		学際領域科目		進化論	2		F2			
				起業論	2			L2		
				知的財産概論	2			L2		
				生産経営概論	2			L2		
				食品工学概論	2			F2		
				生物工学概論	2		L2			理生
				バイオプロセス工学概論	2			F2		
				機器分析学概論	2			F2		理化
				科学メディア論	2			L2		
	学科基礎科目	人間関係科目	必	生命倫理	2	F2				
			選必	科学と哲学	2	F2				
				農と科学の歴史	2	L2				
				心の構造	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		F2			必
				法と社会	2		F2			
				経済入門	2		L2			
				現代の環境問題	2		L2			
		自然関係科目	必	生物学	2	F2				理生
			選必	化学	2	L2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	L2				理地
				統計学	2	L2				
	学科専門	専門基礎科目	必	醸造微生物学	2	F2				理生
			必	微生物学実験	3	F6				理生
			必	分子生物化学	2			F2		理生
			必	発酵食品学	2		F2			理化
			必	食品化学実験	3		L6			理化
			必	生化学(一)	2		F2			理化
			必	生化学(二)	2		L2			理化
			必	アルコリックビバレッジ	2	L2				
			必	調味食品学	2		F2			
			必	醸造環境学	2	L2				
			必	一般化学	2	F2				理化
			必	基礎化学実験	3	F6				理化
			必	有機化学(一)	2	L2				理化
			必	有機化学(二)	2		F2			理化
			必	分析化学	2	L2				理化

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目		バイオインフォマティクス	2			F2		
				飲酒生理学	2	L2				
				公衆衛生学	2		L2			
				分子生物学実験	1			F2		理生
		専門コア科目	必	酵母学	2			L2		
			必	食品化学	2			F2		理化
			必	麹学	2		L2			
			必	清酒学	2			F2		
			必	酒類生産学実験	3			L6		
			必	食品保蔵学	2			L2		
			必	食品衛生化学	2		L2			
			必	調味料生産学実験	3			F6		
			必	環境保全技術論	2		F2			理化
			必	環境化学	2			L2		理化
			必	醸造環境学実験	3		L6			理化
			必	ケミカルエコロジー	2		L2			理化
				微生物細胞学	2		F2			理生
				微生物遺伝学	2		L2			理生
				微生物生理学	2		L2			理生
				食品微生物学	2	L2				
				食品加工学	2	L2				
				ワイン学	2		F2			
				ビール学	2			F2		
				蒸留酒学	2			F2		
				味噌醸造学	2		F2			
				醤油醸造学	2		L2			
				食品機能学	2			F2		
				環境管理論	2			L2		理化
				環境微生物学	2		F2			理生
				生物資源リサイクル論	2			L2		
				天然物化学	2			L2		理化
				応用酵素学	2			F2		理化
				品質鑑定論	2			L2		
		総合化科目	必	卒業論文	4				4	
				醸造科学特別実習	2			L4		

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。

教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
83単位	8単位	33単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のFは前学期配当科目，Lは後学期配当科目を表す。

2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，選択必修科目の３科目中から１科目を選び必修とする。

3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。

4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，選択必修科目の４科目中から１科目を選び必修とする。

5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。

6　醸造科学特別実習は、集中で行う。

応用生物科学部
食品安全健康学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2			
			必	情報基礎(一)	2	F2			
			必	情報基礎(二)	2	L2			
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2				
				特別講義(二)	2				
				特別講義(三)	2				
				特別講義(四)	2				
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2			
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2			
		英語科目	必	英語(一)	2	F2			
			必	英語(二)	2	L2			
			必	英語(三)	2		F2		
			必	英語(四)	2		L2		
				英語リーディング(一)	2		F2		
				英語リーディング(二)	2		L2		
				TOEIC英語(一)	2	F2			
				TOEIC英語(二)	2	L2			
				英会話(一)	2	L2			
				英会話(二)	2		F2		
				ビジネス英語	2			F2	
				科学英語	2			L2	
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2			
				中国語(二)	2	L2			
				スペイン語(一)	2	F2			
				スペイン語(二)	2	L2			
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2			
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2			
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1		
				インターンシップ	1			L1	
				ビジネスマナー	1		F1		
		演習科目	必	共通演習	1	L1			
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2			
				基礎化学	2	F2			
専門教育科目	学部専門	専門共通科目		生命科学	2			L2	
				環境科学	2			L2	

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次
専門教育科目	学部専門	創生型科目		食育コース	2			L2	
		学際領域科目		進化論	2		F2		
				起業論	2			L2	
				知的財産概論	2			L2	
				生産経営概論	2			L2	
				食品工学概論	2			F2	
				生物工学概論	2		L2		
				バイオプロセス工学概論	2			F2	
				機器分析学概論	2			F2	
				科学メディア論	2			L2	
	学科基礎科目	人間関係科目	必	生命倫理	2	F2			
			選必	科学と哲学	2	F2			
				農と科学の歴史	2	L2			
				心の構造	2	L2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		F2		
				法と社会	2		F2		
				経済入門	2		L2		
				現代の環境問題	2		L2		
		自然関係科目	必	生物学	2	F2			
			選必	化学	2	F2			
				物理学	2	L2			
				地学	2	L2			
				統計学	2	L2			
	学科専門	専門基礎科目	必	食品安全健康学概論	2	F2			
			必	生化学	2	L2			
			必	酵素学	2		F2		
			必	生理学	2	F2			
			必	★微生物学	2	F2			
			必	★有機化学	2	F2			
			必	★無機化学	2	L2			
			必	★分析化学	2	L2			
			必	生物有機化学	2		F2		
			必	分子生物学	2		F2		
			必	細胞生物学	2		L2		
			必	基礎化学実験	2	F4			
			必	生化学実験	2	L4			
			必	生理学実験	2	F4			
			必	分子生物学実験	2		L4		
			必	微生物学実験	2	L4			
				機器分析学	2			L2	
				科学英語	2			L2	

平成26年４月改正

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	必	食品安全学	2			F2	
			必	★食品化学	2	L2			
			必	食品物性学	2		F2		
			必	★食品機能学	2		L2		
			必	★食品衛生学	2		L2		
			必	★食品加工保蔵学	2		L2		
			必	★食糧資源学	2		F2		
			必	病理学	2			F2	
			必	公衆衛生学	2		L2		
			必	病原微生物学	2	L2			
			必	一般毒性学	2			F2	
			必	栄養機能学	2		F2		
			必	生体高分子学	2			F2	
			必	物質分析学	2		L2		
			必	★食品衛生・安全学実験	2			F4	
			必	★食品化学実験	2		F4		
			必	★食材利用学実習	3		L6		
			選必	食品安全健康学実験（食品安全解析学）	2			L4	
				食品安全健康学実験（食品安全評価学）	2			L4	
				食品安全健康学実験（食品利用安全学）	2			L4	
				食品安全健康学実験（分子機能学）	2			L4	
				食品安全健康学実験（生理機能学）	2			L4	
				食品安全健康学実験（生体環境解析学）	2			L4	
				食材生化学	2		F2		
				食品生理活性学	2			F2	
				病態分子生物学	2			L2	
				免疫学	2			L2	
				放射能科学	2			L2	
				遺伝子工学	2			L2	
				遺伝毒性学	2			L2	
				感性科学	2			F2	
				生物統計学	2			L2	
				生理活性物質学	2		L2		
				ケミカルバイオロジー	2			L2	
				バイオインフォマティクス演習	2			L2	
				リスクマネジメント論	2			F2	
				インターナショナルフードアセスメント	2			L2	
		総合化科目	必	卒業論文	4				4
			必	研究倫理	1			F1	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
91単位	10単位	23単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。

2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，選択必修科目の３科目中から１科目を選び必修とする。

3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。

4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，選択必修科目の４科目中から１科目を選び必修とする。

5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。

6　★は，Hazard Analysis and Critical Control Point（HACCP）に必要な科目である。

応用生物科学部
栄養科学科

栄養

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2	F2				
				TOEIC英語(二)	2	L2				
				英会話(一)	2	L2				
				英会話(二)	2		F2			
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目		生命科学	2			L2		理生
				環境科学	2			L2		

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	創生型科目		食育コース	2			L2		
		学際領域科目		進化論	2		F2			
				起業論	2			L2		
				知的財産概論	2			L2		
				生産経営概論	2			L2		
				食品工学概論	2			F2		
				生物工学概論	2		L2			理生
				バイオプロセス工学概論	2			F2		
				機器分析学概論	2			F2		理化
				科学メディア論	2			L2		
	学科基礎科目	人間関係科目	必	生命倫理	2	L2				
			選必	科学と哲学	2	F2				
				農と科学の歴史	2	L2				
				心の構造	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		F2			必
				法と社会	2		F2			
				経済入門	2		L2			
				現代の環境問題	2		L2			
		自然関係科目	必	生物学	2	F2				理生
			選必	化学	2	F2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	L2				理地
				統計学	2	L2				
	学科専門	専門基礎科目	必	農学概論	2	F2				
			必	※☆医学概論	2		F2			
			必	※☆生化学(一)	2		F2			理化
			必	☆生化学(二)	2		L2			理化
			必	☆食事設計基礎演習	2		L2			
			必	※☆解剖生理学	2	L2				理生
			必	☆解剖生理学実験	2		F4			理生
			必	有機化学	2		F2			理化
			必	分析化学	2	L2				理化
			必	微生物学	2	L2				理生
			必	※☆公衆衛生学	2			F2		
			必	※☆基礎栄養学	2	F2				
				※☆基礎栄養学実験	2	F4				理化
				☆生化学実験	2		L4			理化
				※☆健康管理概論	2			L2		
				☆運動生理学	2			F2		理生
				☆カウンセリング論	2				F2	
				☆病理学	2		L2			
				☆社会福祉論	1				F1	
				☆医療福祉論	1				F1	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	必	※☆食品学総論	2	F2				
			必	食品学各論	2	L2				
			必	※☆食品分析学実験	2	L4				理化
			必	食品機能学	2			F2		理化
			必	※☆食品加工学	2		F2			
			必	※☆食品衛生学	2		F2			
			必	※☆食品衛生学実験	2		L4			
			必	※☆調理学	2	F2				
			必	※☆調理学実習(一)	2	F4				
			必	食品加工学実習	2		F4			
			必	※☆応用栄養学	2	L2				
			必	※☆栄養生理学	2			L2		理化
			必	※☆栄養教育論(一)	2		L2			
			必	※☆臨床栄養学総論	2		F2			
			必	※☆給食経営管理論	2		L2			
			必	※☆ライフステージ栄養学(一)	2		F2			
			必	☆臨床栄養学各論(一)	2		L2			
			必	※☆公衆栄養学(一)	2			F2		
			必	食品科学実験	1		F2			
			必	調理科学実験	1		L2			
				☆フードマネジメント論	2			L2		
				☆調理学実習(二)	2	L4				
				☆ライフステージ栄養学(二)	2		L2			
				☆応用栄養学実習	2		L4			
				※☆栄養教育論(二)	2			F2		
				※☆栄養教育実習	2			L4		
				☆臨床栄養学各論(二)	2			F2		
				※☆臨床栄養学実習(一)	2			F4		
				☆臨床栄養学実習(二)	2			L4		
				☆医療栄養管理学	2			L2		
				☆公衆栄養学(二)	2			L2		
				※☆公衆栄養学実習	2			F4		
				※☆給食経営管理実習	2			F4		
				☆献立作成演習	2			F2		
				薬理学	2			L2		
				スポーツ栄養学	2			L2		
				分子栄養学	2			L2		
				医療フードコーディネート演習	2			L2		
				栄養疫学	2			L2		
				食品開発論	1			L1		
				※☆臨地実習(一)	1				F2	
				☆臨地実習(二)	3				F6	
		総合化科目	必	卒業論文	4				4	
			必	栄養管理学概論	1	F1				
			必	栄養科学特論	1			L1		
				☆総合演習(一)	1				F1	
				☆総合演習(二)	1				L1	

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
87単位	8単位	29単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。

2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，選択必修科目の３科目中から１科目を選び必修とする。

3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。

4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，選択必修科目の４科目中から１科目を選び必修とする。

5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。

6　※は，栄養士関係科目であるため、他学科・他学部聴講できない。

7　栄養士免許を取得するためには，栄養士関係科目を必修とする。

8　☆は，管理栄養士関係科目であるため、他学科・他学部聴講できない。

9　管理栄養士国家試験の受験資格を取得するためには，管理栄養士関係科目を必修とする。

10　臨地実習（一）・（二）は，校外実習。

応用生物科学部栄養科学科における栄養士･管理栄養士関係科目について

栄養士免許を取得するためには，応用生物科学部栄養科学科のカリキュラム（P134 ～ 135）の中で，下記の栄養士関係科目を必修とする。

管理栄養士国家試験の受験資格を取得するためには，応用生物科学部栄養科学科のカリキュラム（P134 ～ 135）の中で，次頁の管理栄養士関係科目を必修とする。

１、栄養士施行規則に定められた教育内容に関連する栄養士関係科目一覧

教育内容	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習	科目名	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習
社会生活と健康	4	4	健康管理概論	2	
			公衆衛生学	2	
			社会生活と健康の合計単位数	4	0
人体の構造と機能	8		生化学(一)	2	
			解剖生理学	2	
			栄養生理学	2	
			医学概論	2	
			人体の構造と機能の合計単位数	8	0
食品と衛生	6		食品学総論	2	
			食品加工学	2	
			食品衛生学	2	
			食品分析学実験		2
			食品衛生学実験		2
			食品と衛生の合計単位数	6	4
栄養と健康	8	10	基礎栄養学	2	
			ライフステージ栄養学(一)	2	
			応用栄養学	2	
			臨床栄養学総論	2	
			基礎栄養学実験		2
			臨床栄養学実習(一)		2
			栄養と健康の合計単位数	8	4
栄養の指導	6		栄養教育論(一)	2	
			栄養教育論(二)	2	
			公衆栄養学(一)	2	
			栄養教育実習		2
			公衆栄養学実習		2
			栄養の指導の合計単位数	6	4
給食の運営	4		給食経営管理論（給食計画論及び給食実務論を含む）	2	
			調理学	2	
			調理学実習（一）		2
			給食経営管理実習		2
			臨地実習(一)（給食運営の校外実習を含む）		1
			給食の運営の合計単位数	4	5
計	36	14		36	17
合計	50			53	

2、管理栄養士施行規則に定められた教育内容に関連する管理栄養士関係科目一覧

教育内容		単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習	科目名	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	健康管理概論	2	
				公衆衛生学	2	
				社会福祉論	1	
				医療福祉論	1	
				社会・環境と健康の合計単位数	6	0
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		生化学(一)	2	
				生化学(二)	2	
				医学概論	2	
				解剖生理学	2	
				病理学	2	
				栄養生理学	2	
				運動生理学	2	
				解剖生理学実験		2
				生化学実験		2
				人体の構造と機能及び疾病の成立ちの合計単位数	14	4
	食べ物と健康	8		食品学総論	2	
				食品加工学	2	
				食品衛生学	2	
				調理学	2	
				食事設計基礎演習	2	
				献立作成演習	2	
				食品衛生学実験		2
				食品分析学実験		2
				調理学実習（一）		2
				調理学実習（二）		2
				食べ物と健康の合計単位数	12	8
	専門基礎分野計	28	10		32	12
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	2	
				基礎栄養学実験		2
				基礎栄養学の合計単位数	2	2
	応用栄養学	6		ライフステージ栄養学(一)	2	
				ライフステージ栄養学(二)	2	
				応用栄養学	2	
				応用栄養学実習		2
				応用栄養学の合計単位数	6	2
	栄養教育論	6		栄養教育論(一)	2	
				栄養教育論(二)	2	
				カウンセリング論	2	
				栄養教育実習		2
				栄養教育論の合計単位数	6	2
	臨床栄養学	8		臨床栄養学総論	2	
				臨床栄養学各論(一)	2	
				臨床栄養学各論(二)	2	
				医療栄養管理学	2	
				臨床栄養学実習(一)		2
				臨床栄養学実習(二)		2
				臨床栄養学の合計単位数	8	4
	公衆栄養学	4		公衆栄養学(一)	2	
				公衆栄養学(二)	2	
				公衆栄養学実習		2
				公衆栄養学の合計単位数	4	2
	給食経営管理論	4		給食経営管理論	2	
				フードマネジメント論	2	
				給食経営管理実習		2
				給食経営管理論の合計単位数	4	2
	総合演習	2		総合演習(一)	1	
				総合演習(二)	1	
				総合演習の合計単位数	2	0
	臨地実習		4	臨地実習(一)（給食運営の校外実習を含む）		1
				臨地実習(二)（病院・保健所等における臨地実習を含む）		3
				臨地実習の合計単位数	0	4
	専門分野計	32	12		32	18
計		60	22		64	30
合計		82			94	

地域環境科学部
森林総合科学科

森林

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				技
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2			F2		
				英会話(二)	2			L2		
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語関係科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				ドイツ語(一)	2	F2				
				ドイツ語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		L1			
		演習科目	必	共通演習	1	L2				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎物理	2	F2				
				基礎数学	2	F2				
				文章表現	2	F2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	地域環境科学概論	2	F2				農
		創生型科目		環境学習と体験活動	2		F2			農
		学際領域科目		地球環境と炭素循環	2	L2				理生
				源流文化学	2		F2			
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	技術者倫理	2			F2		
				哲学	2	F2				
				科学の歴史	2	L2				
				文学	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		L2			必
				現代社会と経済	2			F2		
				地域と文化	2		L2			
				国際関係と社会問題	2			L2		
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				理生
				化学	2	F2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	F2				理地
				統計学	2		F2			
	学科専門	専門基礎科目	必	森林総合科学概論	2	F2				理生
			必	森林植物学	2	F2				農
			必	測量学	2	L2				農
			必	森林生態学	2		F2			理生
			必	森林保全学	2		F2			農
			必	造林学	2		F2			農
			必	林業工学	2		L2			技
			必	森林経営学	2		L2			農
			必	森林政策学	2		F2			農
			必	林産化学	2		L2			理化
			必	木材工学	2		L2			技
		専門コア科目		植生学	2			F2		理生
				★ 森林地形地質学	2	L2				理地
				★ 森林環境学	2		F2			
				緑化工学	2			L2		技
				★ 森林立地学	2		F2			農
				森林機械学	2			F2		農
				樹木生理学	2	L2				理生
				木材組織学	2	F2				技
				★ 木材物理学	2	L2				理物
				木材化学	2		F2			理化
				木材保存化学	2			L2		技

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目		森林文化論	2	F2				
				★森林計画学	2			F2		農
				森林環境経済学	2			L2		
				外書講読	2				F2	
				★実験・調査計画法	2				F2	
				野生生物管理学	2		L2			理生
				樹病学	2		L2			農
				★治山工学	2			L2		農
				★森林水文学	2			F2		理地
				★森林情報学	2	L2				農
				★森林情報演習	1		L2			
				林木育種学	2		L2			理生
				森林アメニティ学	2		L2			
				森林昆虫学	2			F2		理生
				★森林土木学	2			F2		農
				★森林土木実習	2			L4		農
				造林樹木学	2			F2		
				森林作業システム学	2			L2		技
				きのこ学	2		F2			理生
				木質構造学	2			F2		技
				木材劣化生物学	2			F2		理生
				木質バイオマス利用学	2			F2		理化
				木質材料学	2			L2		技
				建築設計製図法	2			L2		技
				測樹学	2		L2			農
				山村コミュニティー論	2			F2		
				森林教育学	2		L2			農
		専門実用科目 注8		木材加工(製図及び実習を含む。)	2		F2			技
				金属加工(製図及び実習を含む。)	2		L2			技
				機械(実習を含む。)	2			F2		技
				電気(実習を含む。)	2		L2			技
				栽培(実習を含む。)	2		F2			技
		総合化科目	必	森林学実験実習(一)	2	F4				農
			必	森林学実験実習(二)	2	L4				農
			必	森林学実験実習(三)	2		F4			農
			必	森林学実験実習(四)	2		L4			農
			必	測量実習	2		F4			農
			必	演習林実習(一)	1	F2				
			必	演習林実習(二)	2		L4			
			必	専攻実験・実習(一)	2			F4		農
			必	専攻実験・実習(二)	2			L4		農
			必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
60単位	12単位	52単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，５科目中から２科目を選び必修とする。
5　総合教育科目の初修外国語は、在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
6　卒業後に測量士補資格取得のための申請をする学生は、★の科目から14単位以上を修得する必要がある。
7　樹木医補の資格取得については「学科掲示板」を参照すること。

8　教職課程科目履修について
学科専門実用科目に配当されている「木材加工（製図及び実習を含む。）」「金属加工（製図及び実習を含む。）」「機械（実習を含む。）」「電気（実習を含む。）」「栽培（実習を含む。）」は教職課程履修者のみ履修することができる。ただし、学科の卒業要件に含まれないので注意すること。

地域環境科学部
生産環境工学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				技
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2			F2		
				英会話(二)	2			L2		
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				ドイツ語(一)	2	F2				
				ドイツ語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		L1			
		演習科目	必	共通演習	1	L2				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎物理	2	F2				
				基礎数学	2	F2				
				文章表現	2	F2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	地域環境科学概論	2	F2				農
		創生型科目		環境学習と体験活動	2		F2			農
		学際領域科目		地球環境と炭素循環	2	L2				理生
				源流文化学	2		F2			
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	選必	技術者倫理	2			L2		
				哲学	2	F2				
				科学の歴史	2	L2				
				文学	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		L2			必
				現代社会と経済	2			F2		
				地域と文化	2		L2			
				国際関係と社会問題	2			L2		
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				理生
				化学	2	F2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	F2				理地
				統計学	2		F2			
	学科専門	専門基礎科目	必	生産環境工学概論	2	F2				
			必	数学	2	F2				
			必	数学演習	2	F2				
			必	基礎力学	2	L2				理物
			必	基礎力学演習	2	L2				理物
			必	材料力学	2	L2				技
			必	熱力学	2	L2				理物
			必	★応用数学	2	L2				
			必	★応用数学演習	2	L2				
				★土と水の環境	2	L2				理地
			必	測量学	2		F2			農
			必	測量実習	2		F4			農
			必	応用測量学	2		L2			農
			必	生産環境工学基礎演習	1		F2			
			必	基礎実験	2		L4			技
				作物栽培学	2		L2			
		専門コア科目 地域資源利用分野		地域資源利用工学	2		F2			農
				★地形地質学	2		F2			理地
				地域環境保全学	2		L2			農
				★農村計画学	2			F2		農
				農地環境工学	2			L2		農
				農村環境工学	2			L2		
				土地改良学	2			L2		農

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目 地域資源利用分野		国土防災工学	2			L2		
				海外農業開発工学	2				F2	農
				資源管理制度論	2				F2	農
		専門コア科目 環境情報利用分野		★ 環境気象学	2	L2				理地
			必	★ 環境土壌物理学	2		F2			理物
			必	★ 土質力学	2		L2			理物
			必	★ 土質力学演習	2		L2			理物
				★ 情報処理工学	2		L2			理地
				★ 環境物理学	2			F2		理物
				★ 流域水文学	2			F2		理地
				★ 広域環境情報学	2			F2		技
				★ 地水環境工学	2			L2		農
				★ 環境リモートセンシング工学	2			L2		理地
		専門コア科目 環境基盤創成分野	必	★ 構造力学	2		F2			理物
			必	★ 構造力学演習	2		F2			理物
				★ 土木材料学	2		F2			農
			必	★ 水理学	2		L2			理物
			必	★ 水理学演習	2		L2			理物
				鉄筋コンクリート工学	2		L2			技
				社会基盤工学	2			F2		技
				土木施工法	2			F2		
				水利施設工学	2			F2		農
				環境土木学	2			L2		
				★ 河川工学	2				F2	農
		専門コア科目 機械システム創成分野		機械力学	2		L2			技
				エネルギー工学	2		F2			農
				生産機械情報工学	2		F2			農
				電気・電子工学	2		L2			技
				食品工学	2		L2			
				★ 計測・制御工学	2			F2		技
				農業・建設機械学	2			F2		技
				農産加工流通工学	2			F2		技
				設計製図	2			L2		技
				バイオロボティクス	2			L2		技
		専門実用科目 注10		木材加工(製図及び実習を含む。)	2		F2			技
				金属加工(製図及び実習を含む。)	2		L2			技
				機械(実習を含む。)	2			F2		技
				電気(実習を含む。)	2		L2			技
				栽培(実習を含む。)	2		F2			技
		総合化科目		生産環境工学特別演習	2			2		
			必	専攻実験	2			F4		農
			必	専攻演習(一)	2			L2		農
			必	専攻演習(二)	2				F2	農
			必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
68単位	12単位	44単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，５科目中から２科目を選び必修とする。
5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
6　３年次より生産環境コース，技術者養成コース（JABEEコース）のいずれかを選択する。
7　生産環境コース，技術者養成コース（JABEEコース）については，生産環境工学ガイドを参照すること。
8　卒業後に測量士補資格取得のための申請をする学生は、★の科目から12単位以上を修得する必要がある。
9　編入生のコース選択については，生産環境工学ガイドを参照すること。
10　教職課程科目履修について
学科専門実用科目に配当されている「木材加工（製図及び実習を含む。）」「金属加工（製図及び実習を含む。）」「機械（実習を含む。）」「電気（実習を含む。）」「栽培（実習を含む。）」は教職課程履修者のみ履修することができる。ただし、学科の卒業要件に含まれないので注意すること。

地域環境科学部
造園科学科

造園

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	※情報基礎(一)	2	F2				必
			必	※情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2		F2			
			必	英語(四)	2		L2			
				英語リーディング(一)	2	F2				
				英語リーディング(二)	2	L2				
				TOEIC英語(一)	2			F2		
				TOEIC英語(二)	2			L2		
				英会話(一)	2			F2		
				英会話(二)	2			L2		
				ビジネス英語	2				F2	
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語科目		中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				ドイツ語(一)	2	F2				
				ドイツ語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必
		就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		L1			
		演習科目	必	共通演習	1	L2				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2				
				基礎化学	2	F2				
				基礎物理	2	F2				
				基礎数学	2	F2				
				文章表現	2	F2				

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	地域環境科学概論	2	F2				農
		創生型科目		環境学習と体験活動	2		F2			農
		学際領域科目		地球環境と炭素循環	2	L2				理生
				源流文化学	2		F2			
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	技術者倫理	2			L2		
				哲学	2	F2				
				科学の歴史	2	L2				
				文学	2	L2				
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2		L2			必
				現代社会と経済	2			F2		
				地域と文化	2		L2			
				国際関係と社会問題	2			L2		
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				理生
				化学	2	F2				理化
				物理学	2	L2				理物
				地学	2	F2				理地
				統計学	2		F2			
	学科専門	専門基礎科目	必	※造園科学概論	2	F2				農
			必	※造園体験演習	2	F2				
			必	※環境デザイン基礎演習	2	L2				農
			必	※花・緑演習	2	L2				
			必	※測量実習	2		F4			農
				※CAD及びGIS基礎演習	2		F2			
				緑の経済論	2		F2			
				ランドスケープ作品論	2		F2			農
		専門コア科目 環境計画・設計分野	必	※近代造園史	2		L2			
			必	※造園計画学	2		F2			農
			必	※都市緑地計画学	2			F2		農
			必	※風景地計画学	2			F2		農
			必	※日本庭園論	2			F2		農
				※景観論	2	L2				
				ランドスケープデザイン論	2		L2			
				自然保護論	2			L2		理地
				観光計画論	2			L2		
				公園マネージメント論	2			F2		
				※都市および農村計画	2			L2		
				※ランドスケープ政策論	2			L2		

平成26年４月改正

分野				区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	ランドスケープ資源・植物分野	必	※植物の生活と活用	2	L2				理生
				必	※造園樹木学	2	L2				農
				必	※グラウンドカバープランツ	2		F2			
				必	※緑地生態学	2		L2			理生
				必	※造園植栽学	2		L2			農
					芝生論	2			F2		
					樹木の保護と管理	2			L2		理生
					緑地の生きもの	2			L2		理生
					植栽基盤論	2			F2		農
			景観建設・技術分野	必	※造園工学	2			F2		農
				必	※造園工学基礎演習	2		F2			
				必	※造園施設材料	2		L2			農
				必	※造園施工論	2			L2		農
				必	※測量学	2		F2			農
					※造園施設設計	2			L2		
		総合化科目		必	※造園工学演習	4			F4		
				必	※造園植栽演習	4		L4			
				必	※造園総合演習	4			L4		
				選必	専門特化演習(一)(植物学)	4				F4	理生
					専門特化演習(一)(都市緑化)	4				F4	
					専門特化演習(一)(自然再生)	4				F4	
					専門特化演習(一)(環境デザイン)	4				F4	
				選必	専門特化演習(二)(植栽基盤)	4				L4	
					専門特化演習(二)(建築デザイン)	4				L4	
					※専門特化演習(二)(エンジニア)	4				L4	
					専門特化演習(二)(伝統技法)	4				L4	
				必	※造園総合論	2				L2	
				必	※卒業論文(卒業制作)	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
75単位	20単位	29単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
　1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
　2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
　2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
　3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
　4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，５科目中から２科目を選び必修とする。
　5　総合教育科目の初修外国語は，在学中１ヶ国語のみ履修することができる（複数の外国語の履修は認めない）。
　6　「技術者倫理」は，必ず履修すること。
　7　樹木医補の資格取得，造園環境情報コース対象科目については造園科学科指針を参照すること。
　8　※は，造園環境情報コース（測量士補の資格取得）対象科目。
　9　専門特化演習（一），専門特化演習（二）は４コースから１コースを選び必修とする。

国際食料情報学部
国際農業開発学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2	F2				
			必	英語(四)	2	L2				
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2		F2			
				TOEIC英語(二)	2		L2			
				英会話(一)	2			F2		
				英会話(二)	2			L2		
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語関係科目		スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
				スペイン語(三)	2		F2			
				スペイン語(四)	2		L2			
				フランス語(一)	2	F2				
				フランス語(二)	2	L2				
				フランス語(三)	2		F2			
				フランス語(四)	2		L2			
				中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				中国語(三)	2		F2			
				中国語(四)	2		L2			
				ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2				
				ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2				
				インドネシア語(一)	2	F2				
				インドネシア語(二)	2	L2				
				タイ語(一)	2	F2				
				タイ語(二)	2	L2				
				ハングル・韓国語(一)	2	F2				
				ハングル・韓国語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎数学	2	F2				
				基礎社会	2	F2				
				文章表現	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	英語(五)	2		F2			
			必	英語(六)	2		L2			
				海外農業研修	2		2			農
				植物とバイテク	2	L2				理生
				栽培学原論	2	F2				理生
				植物学	2	L2				理生
				畜産学概論	2		F2			農
				経済経営のための数学	2		L2			農
				経営学	2	F2				
				簿記・会計論	2	L2				
		創生型科目		山村地域再生・活性化	2	F2				
		学際領域科目		アジア農業論	2	L2				
				ラテンアメリカ農業論	2	F2				
				アフリカ農業論	2	F2				
				食農教育論	2			F2		農
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	環境倫理	2		F2			
				科学と哲学	2	F2				
				日本史	2	L2				
				農と科学の歴史	2		L2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	L2				必
				法学入門	2	F2				
				政治のしくみ	2	F2				
				地理学	2		L2			
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				理生
				化学	2	F2				理化
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				理物
				地学	2		L2			理地
	学科専門	専門基礎科目	必	国際農業開発学総論	2	F2				農
			必	熱帯農業入門	2	F2				農

開発

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	必	熱帯作物学総論	2	L2				農
			必	熱帯園芸学総論	2	L2				農
				熱帯食用作物学	2		F2			農
				熱帯野菜学	2		F2			農
				熱帯果樹学	2		L2			農
				熱帯工芸作物学	2			L2		農
				作物育種学	2			L2		理生
			必	熱帯作物保護学総論	2	L2				理生
			必	農業環境科学総論	2	F2				農
				環境概論	2	L2				
				作物病理学	2		F2			理生
				熱帯農業微生物学	2			F2		農
				作物害虫学	2		F2			理生
				熱帯昆虫生態学	2			F2		理生
				熱帯植物生態学	2	L2				理生
				水環境学	2			F2		理生
				熱帯土壌学	2		L2			農
			必	農業経済学	2	L2				農
			必	農業開発経済学	2		L2			農
				農業貿易論	2			L2		農
				国際フードシステム論	2		L2			
			必	地域農業開発論	2	L2				農
			必	農村開発政策論	2		F2			農
			必	農業経営学	2		F2			農
				農業開発普及論	2		L2			農
			必	農村開発社会学	2	F2				農
				日本農業論	2	F2				農
				農村開発調査論	2			F2		農
				ファーミングシステム論	2			L2		農
				国際農業協力論	2		F2			農
				プロジェクト評価論	2			F2		農
		総合化科目	必	農学基礎実験	2		F4			農
			必	農業総合実習	2	4				農
			必	農業専門実習	2		4			農
			必	農業開発実習	2			4		農
			必	卒業論文演習(一)	2			F2		
			必	卒業論文演習(二)	2			L2		
			必	卒業論文	4				4	
				農学専門実験	2			F4		農
				ファームステイ	2		4			農
				海外農業実習(一)	2			L4		農
				海外農業実習(二)	2			L4		農
				海外農業実習(三)	2			L4		農

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
59単位	12単位	53単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，５科目中から２科目を選び必修とする。

国際食料情報学部
食料環境経済学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2	F2				
			必	英語(四)	2	L2				
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2		F2			
				TOEIC英語(二)	2		L2			
				英会話(一)	2			F2		
				英会話(二)	2			L2		
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語関係科目		スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
				スペイン語(三)	2		F2			
				スペイン語(四)	2		L2			
				フランス語(一)	2	F2				
				フランス語(二)	2	L2				
				フランス語(三)	2		F2			
				フランス語(四)	2		L2			
				中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				中国語(三)	2		F2			
				中国語(四)	2		L2			
				ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2				
				ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2				
				インドネシア語(一)	2	F2				
				インドネシア語(二)	2	L2				
				タイ語(一)	2	F2				
				タイ語(二)	2	L2				
				ハングル・韓国語(一)	2	F2				
				ハングル・韓国語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎数学	2	F2				
				基礎社会	2	F2				
				文章表現	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	英語(五)	2		F2			
			必	英語(六)	2		L2			
				海外農業研修	2		2			農
				植物とバイテク	2	L2				
				栽培学原論	2	F2				
				植物学	2	L2				
				畜産学概論	2		F2			農
				経済経営のための数学	2		L2			農
				経営学	2	F2				社公
				簿記・会計論	2	L2				
		創生型科目		山村地域再生・活性化	2	F2				
		学際領域科目		アジア農業論	2	L2				
				ラテンアメリカ農業論	2	F2				
				アフリカ農業論	2	F2				
				食農教育論	2			F2		農
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	環境倫理	2		F2			
				科学と哲学	2	F2				
				日本史	2	L2				社地
				農と科学の歴史	2		L2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	L2				必
				法学入門	2	F2				社公
				政治のしくみ	2	F2				社公
				地理学	2		L2			社地
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				
				化学	2	F2				
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				
				地学	2		L2			

平成26年４月改正

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎	必	食料環境経済学演習(一)	2	F2				農
			必	食料環境経済学演習(二)	2	L2				農
			必	食料環境経済学演習(三)	2		F2			農
			必	食料環境経済学演習(四)	2		L2			農
			必	フィールド研修	2		L2			農
			必	ミクロ経済学(一)	2	F2				社公
			必	マクロ経済学	2		F2			社公
				ミクロ経済学(二)	2	L2				社公
				現代社会論	2		F2			社公
				社会経済学	2		L2			社公
				経済統計論	2			L2		社公
				社会調査	2			F2		社公
				農業思想論	2	L2				農
				企業と会計	2		L2			社公
				民法	2		F2			社公
				商法	2			F2		社公
				行政学	2		L2			
				行政法	2			L2		社公

分野				区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
食料経済コース											
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	食料経済分野	必	食料政策論	2		L2			農
				必	食品マーケティング論	2		F2			農
				必	食品産業論	2			F2		農
				必	国際農業経済論	2			F2		農
				必	農業貿易論	2		L2			農
			農業経済分野		農業経営学	2			F2		農
					農業政策論	2		F2			農
					農村政策論	2			L2		農
					農業史	2		F2			社地
					農村社会学	2		L2			社公
			環境経済分野		環境政策論	2		L2			農
					環境社会学	2		F2			社公
					新エネルギー論	2			F2		社地
					経済地理学	2		F2			社地
					地域計画論	2			F2		社地
		専門コア科目		必	食料経済学	2		F2			農
				必	環境経済学	2		F2			社公
				必	農業経済学	2	L2				社地
					農村経済論	2	F2				農
					グローバル経済論	2	F2				社公
					環境経済史	2	L2				社地
					財政学	2		L2			社公
					都市経済論	2		L2			社地
					食生活史	2		L2			社地
					食育と食生活論	2		L2			
					農産物市場論	2			L2		農
					金融論	2			F2		農
					計量経済学	2			F2		社公
					環境経済評価	2			F2		社地
					環境会計論	2			L2		社公
					公共経済学	2			L2		社公
					アメリカ・EU農業経済論	2		L2			社地
					アジア農業経済論	2			F2		社地
					食料環境経済学特別講義	2			F2		
					農業団体と協同組合	2			L2		農
					資源経済学	2			F2		社公
					食品安全リスク論	2			L2		
					農業・食品関係法	2			L2		農
					環境法	2			F2		
					フィールドスタディー	2			F2		
					特別演習(一)	1		F1			
					特別演習(二)	1		L1			
					特別演習(三)	1			F1		
					特別演習(四)	1			L1		

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
農業経済コース										
専門教育科目	学科専門	専門コア科目 食料経済分野		食料政策論	2		L2			農
				食品マーケティング論	2		F2			農
				食品産業論	2			F2		農
				国際農業経済論	2			F2		農
				農業貿易論	2		L2			農
		専門コア科目 農業経済分野	必	農業経営学	2			F2		農
			必	農業政策論	2		F2			農
			必	農村政策論	2			L2		農
			必	農業史	2		F2			社地
			必	農村社会学	2		L2			社公
		専門コア科目 環境経済分野		環境政策論	2		L2			農
				環境社会学	2		F2			社公
				新エネルギー論	2			F2		社地
				経済地理学	2		F2			社地
				地域計画論	2			F2		社地
		専門コア科目	必	食料経済学	2		F2			農
			必	環境経済学	2		F2			社公
			必	農業経済学	2	L2				社地
				農村経済論	2	F2				農
				グローバル経済論	2	F2				社公
				環境経済史	2	L2				社地
				財政学	2		L2			社公
				都市経済論	2		L2			社地
				食生活史	2		L2			社地
				食育と食生活論	2		L2			
				農産物市場論	2			L2		農
				金融論	2			F2		農
				計量経済学	2			F2		社公
				環境経済評価	2			F2		社地
				環境会計論	2			L2		社公
				公共経済学	2			L2		社公
				アメリカ・EU農業経済論	2		L2			社地
				アジア農業経済論	2			F2		社地
				食料環境経済学特別講義	2			F2		
				農業団体と協同組合	2			L2		農
				資源経済学	2			F2		社公
				食品安全リスク論	2			L2		
				農業・食品関係法	2			L2		農
				環境法	2			F2		
				フィールドスタディー	2			F2		
				特別演習(一)	1		F1			
				特別演習(二)	1		L1			
				特別演習(三)	1			F1		
				特別演習(四)	1			L1		

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
環境経済コース										
専門教育科目	学科専門	専門コア科目 食料経済分野		食料政策論	2		L2			農
				食品マーケティング論	2		F2			農
				食品産業論	2			F2		農
				国際農業経済論	2			F2		農
				農業貿易論	2		L2			農
		専門コア科目 農業経済分野		農業経営学	2			F2		農
				農業政策論	2		F2			農
				農村政策論	2			L2		農
				農業史	2		F2			社地
				農村社会学	2		L2			社公
		専門コア科目 環境経済分野	必	環境政策論	2		L2			農
			必	環境社会学	2		F2			社公
			必	新エネルギー論	2			F2		社地
			必	経済地理学	2		F2			社地
			必	地域計画論	2			F2		社地
		専門コア科目	必	食料経済学	2		F2			農
			必	環境経済学	2		F2			社公
			必	農業経済学	2	L2				社地
				農村経済論	2	F2				農
				グローバル経済論	2	F2				社公
				環境経済史	2	L2				社地
				財政学	2		L2			社公
				都市経済論	2		L2			社地
				食生活史	2		L2			社地
				食育と食生活論	2		L2			
				農産物市場論	2			L2		農
				金融論	2			F2		農
				計量経済学	2			F2		社公
				環境経済評価	2			F2		社地
				環境会計論	2			L2		社公
				公共経済学	2			L2		社公
				アメリカ・EU農業経済論	2		L2			社地
				アジア農業経済論	2			F2		社地
				食料環境経済学特別講義	2			F2		
				農業団体と協同組合	2			L2		農
				資源経済学	2			F2		社公
				食品安全リスク論	2			L2		
				農業・食品関係法	2			L2		農
				環境法	2			F2		
				フィールドスタディー	2			F2		
				特別演習(一)	1		F1			
				特別演習(二)	1		L1			
				特別演習(三)	1			F1		
				特別演習(四)	1			L1		

平成26年４月改正

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門実用科目 注5		外国史	2		L2			社地
				地誌	2			L2		社地
		総合化科目	必	卒業論文演習(一)	2			F2		
			必	卒業論文演習(二)	2			L2		
			必	卒業論文演習(三)	1				F1	
			必	卒業論文演習(四)	1				L1	
			必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。
教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
59単位	12単位	53単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位
2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
2　学科基礎科目の人間関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
3　学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。
4　学科基礎科目の自然関係分野の科目は，５科目中から２科目を選び必修とする。

5　教職課程科目履修について
学科専門実用科目に配当される「外国史」「地誌」は教職課程履修者のみ履修することができる。ただし、学科の卒業要件に含まれないので注意すること。

国際食料情報学部
国際バイオビジネス学科

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2				
			必	情報基礎(一)	2	F2				必
			必	情報基礎(二)	2	L2				情
		課題別科目		特別講義(一)	2					
				特別講義(二)	2					
				特別講義(三)	2					
				特別講義(四)	2					
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2				
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2				
		英語科目	必	英語(一)	2	F2				必
			必	英語(二)	2	L2				
			必	英語(三)	2	F2				
			必	英語(四)	2	L2				
				英語リーディング(一)	2		F2			
				英語リーディング(二)	2		L2			
				TOEIC英語(一)	2		F2			
				TOEIC英語(二)	2		L2			
				英会話(一)	2			F2		
				英会話(二)	2			L2		
				ビジネス英語	2			F2		
				科学英語	2			L2		
	学部共通	初修外国語関係科目		スペイン語(一)	2	F2				
				スペイン語(二)	2	L2				
				スペイン語(三)	2		F2			
				スペイン語(四)	2		L2			
				フランス語(一)	2	F2				
				フランス語(二)	2	L2				
				フランス語(三)	2		F2			
				フランス語(四)	2		L2			
				中国語(一)	2	F2				
				中国語(二)	2	L2				
				中国語(三)	2		F2			
				中国語(四)	2		L2			
				ブラジル・ポルトガル語(一)	2	F2				
				ブラジル・ポルトガル語(二)	2	L2				
				インドネシア語(一)	2	F2				
				インドネシア語(二)	2	L2				
				タイ語(一)	2	F2				
				タイ語(二)	2	L2				
				ハングル・韓国語(一)	2	F2				
				ハングル・韓国語(二)	2	L2				
	全学共通	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2				必
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2				必

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
総合教育科目	全学共通	就職準備科目		キャリアデザイン	1		F1			
				インターンシップ	1			L1		
				ビジネスマナー	1		F1			
		演習科目	必	共通演習	1	L1				
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎数学	2	F2				
				基礎社会	2	F2				
				文章表現	2	F2				
専門教育科目	学部専門	専門共通科目	必	英語(五)	2		F2			
			必	英語(六)	2		L2			
				海外農業研修	2		2			農
				植物とバイテク	2	L2				
				栽培学原論	2	F2				
				植物学	2	L2				
				畜産学概論	2		F2			農
				経済経営のための数学	2		L2			農
				経営学	2	F2				社
				簿記・会計論	2	L2				情
		創生型科目		山村地域再生・活性化	2	F2				
		学際領域科目		アジア農業論	2	L2				
				ラテンアメリカ農業論	2	F2				
				アフリカ農業論	2	F2				
				食農教育論	2			F2		農
	学科基礎科目	人間関係科目	選必	環境倫理	2		F2			
				科学と哲学	2	F2				
				日本史	2	L2				社
				農と科学の歴史	2		L2			
		社会関係科目	選必	日本国憲法	2	L2				必
				法学入門	2	F2				社
				政治のしくみ	2	F2				社
				地理学	2		L2			社
		自然関係科目	選必	生物学	2	F2				
				化学	2	F2				
				数学	2	L2				
				物理学	2	L2				
				地学	2		L2			

ビジネス

分野				区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目		必	国際バイオビジネス基礎演習(一)	2	F2				農
				必	国際バイオビジネス基礎演習(二)	1	L1				農
				必	国際バイオビジネス基礎演習(三)	2		F2			農
				必	国際バイオビジネス基礎演習(四)	2		L2			農
				必	バイオビジネス経済学(一)(ミクロ)	2	F2				社
				必	バイオビジネス経済学(二)(マクロ)	2	L2				社
				必	バイオビジネス経営学総論	2	F2				農
				必	バイオビジネスマーケティング論	2		F2			農
				必	バイオビジネス経営情報論	2	L2				情
				必	バイオビジネス経営環境論	2	L2				社
				必	バイオビジネス経営実践論	2		L2			農
				必	バイオビジネス実地研修(一)	2		L2			農
				必	農業経営・制度展開論	2		L2			農
					農業マネジメント論	2			F2		農
				必	国際地域農業論	2		F2			農
				必	バイオビジネス統計学(一)	2		F2			
					バイオビジネス統計学(二)	2		L2			
					オペレーションズ・リサーチ	2			L2		情
		専門コア科目	経営分野		フードビジネス論	2		L2			農
				必	バイオビジネス経営組織論	2			F2		社
				必	バイオビジネス経営戦略論	2			F2		社
				必	バイオビジネス経営管理論	2		F2			農
					バイオビジネス問題解決技法演習	2			2		
					バイオビジネスゲーム演習	2			2		
					マーケティングリサーチ	2			L2		農
				選必	バイオビジネス経営学演習	2			F2		
				必	バイオビジネス財務会計論	2		L2			社
					バイオビジネス管理会計論	2			F2		社
					バイオビジネス経営計画・分析論	2			L2		社
					バイオビジネスファイナンス論	2				F2	社
					バイオビジネス法	2			F2		社
				選必	バイオビジネス会計学演習	2		L2			
			情報分野	選必	バイオビジネス経営情報論演習	2			F2		情
				選必	バイオビジネス統計学演習	2			L2		情
					オペレーションズ・リサーチ演習	2			L2		情
					情報ネットワーク論	2		F2			情
					プログラム言語	2		F2			情
					バイオビジネス情報システム論	2			F2		情
					データベース論	2			F2		情
					マルチメディア論	2			L2		情
					基本情報処理演習(一)	2			L2		情
					基本情報処理演習(二)	2			L2		情

分野				区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	教職
専門教育科目	学科専門	専門コア科目	環境分野	選必	環境調査・分析演習(一)	2			L2		
				選必	環境調査・分析演習(二)	2			L2		
					環境経済論	2		F2			農
					アグロエコロジー	2		F2			農
					国際環境ビジネス論	2			L2		社
					持続的農業論	2			L2		農
					環境経営論	2		L2			社
					イノベーション普及論	2			L2		社
					地域資源論	2			F2		社
		専門実用科目注4			外国史	2		L2			社
					地誌	2			L2		社
					情報社会及び情報倫理	2		F2			情
					情報と職業	2		F2			情
		総合化科目			バイオビジネス実地研修(二)	2			2		
				必	卒業論文演習(一)	2			F2		
				必	卒業論文演習(二)	2			L2		
				必	卒業論文演習(三)	1				F2	
				必	卒業論文演習(四)	1				L2	
				必	卒業論文	4				4	

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。

教職欄の必、◯は、教職必修科目を表す。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
66単位	16単位	42単位以上	124単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。

1　他学部聴講・他学科聴講・大学間履修・英語による専門教育プログラム・日本語科目で修得した単位のうち30単位

2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。

2　専門教育科目のうち「学科基礎科目」の選択必修科目については，下記のとおりとする。

(1) 学科基礎科目の人間関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。

(2) 学科基礎科目の社会関係分野の科目は，４科目中から２科目を選び必修とする。

(3) 学科基礎科目の自然関係分野の科目は，５科目中から２科目を選び必修とする。

3　専門教育科目のうち「専門コア科目」の選択必修科目については，６科目中から２科目を選び、必修とする。どの分野から選択しても構わない。

4　教職課程科目履修について
学科専門実用科目に配当される「外国史」「地誌」「情報社会及び情報倫理」「情報と職業」は教職課程履修者のみ履修することができる。ただし、学科の卒業要件に含まれないので注意すること。

英語による専門教育プログラム関係科目

(1) プログラム名

Special Program（Conducted in English）：Agriculture，Food and Environment

(2) 目的

本学では，多数の留学生および海外協定校からの交換留学生を受け入れており，本学の高度な専門教育を効率的に学習させるためには英語による授業が望ましいと考えています。さらに，国際社会に飛び立つ日本人学生にとっては英語で専門分野を理解する能力が不可欠です。このようなグローバル化時代に対応した大学教育の必要性から本プログラムを実施します。

(3) 内容

本学は，食料，環境，健康，資源エネルギーという人類の課題に対して，農学および関連領域から貢献する人材の育成を目指しています。３キャンパス５学部18学科体制の下で専門的な教育研究を実施し多大な成果をあげてきましたが，これらの課題は相互に関連するもので，学際的アプローチも重要です。たとえば食料問題は食料の生産・分配・消費に関する諸問題の総称ですが，食料生産は農業や食品加工業によって遂行され，自然環境，農業技術，食品加工技術などと深く関わってきます。分配は市場経済メカニズムだけでなく保蔵技術の改良によって流通範囲が拡大しつつあります。消費には所得水準のみならず地域固有の食文化が反映されます。

近年の人口増加に見合う食料の増産は現代農学の顕著な成果でしたが，同時に環境負荷の増大や食の安全性の危惧が表面化してきました。今日，環境保全や安全食料の確保の必要性が世界的規模で認識されています。そこで，農業，食料，環境について，広義の農学的視点から基礎知識の修得を目指す全学共通プログラムを開講します。

まさに，食料と環境についての基礎知識を総合的に修得することは，21世紀の人類繁栄に貢献することにつながります。修得者の国際貢献を推進するため，世界共通語である英語を使用言語として実施します。国際的な活動を志向する日本人学生の英語力と専門的知識の向上を図るとともに，特に欧米などからの留学生や海外協定校からの交換留学生にとっては，日本やアジアの食料・農業・農村・環境・文化を概観できる機会となるよう講義・見学などの内容に配慮します。

(4) 開講科目

後掲の科目一覧表のとおり

(5) 本プログラムの特徴

① すべて英語による授業

本プログラムは，本学の専門教育をすべて英語によって実施するものです。単に語学教育のプログラムではないので注意してください。

② すべての学生を対象に開講

本プログラムは５学部全学科を対象としたオープンプログラムで，開講学年はフリーです。

フィールドスタディ等学外で実施する科目を除き，当面の開催場所は以下の通りです。

「Introduction to Bioindustry」と「Eastern Hokkaido:Identifying Opportuninities in a Region of Declining Population」はオホーツクキャンパスで開講します。

「Ecology and Agricultual Production」は、厚木キャンパスで開講します。その他の科目については、世田谷キャンパスで開講します。

③ BasicからAdvancedまで開講

本プログラム科目は，比較的やさしいレベルの科目からより高度なレベルの科目まで開講されます。自分の英語力にあわせて履修を考えてください。

④ 授業の開講について

各講義科目は，半期で週１時限（１コマ）開講の２単位です。

履修については、次項の科目とあわせて、必ず留意事項を確認してください。

⑤ 修得単位数について

学則第15条の３に規定するとおり，他学科聴講・他学部聴講により修得した単位の他、大学間聴講・日本語科目との合計修得単位のうち30単位までを選択科目として卒業要件単位に加えることができます。

⑥ 視察，演習，実験・実習およびフィールドスタディは実費を徴収します。

(6) 履修上の注意事項

自分の英語能力にあわせて履修を考えましょう。学年を問わずいつでも履修できますので，英語能力アップを図った上で履修が可能です。

Special Program (Conducted in English) : Agriculture,Food and Environment
科目一覧

科 目 名	配当学年	配当学期	単位数
Basic (recommended for 1 ~ 2 Year students)			
Environment and Agriculture	1 ~ 4	F	2
Food and Environment in Economic Development		F	
Life history and Applications of Landscape Plants ※2		F	
Japanese Agricultural Development		F	
Comparative Developing Agriculture		L	
Forest and Forestry ※1		F	
Farmers and Consumers in Japan		L	
Ecology and Agricultural Production		L	
Comparative Nature Study from Cultural Perspective ※2		F	
Intermediate (recommended for 2 ~ 3 Year students)			
Introduction to Bioindustry	1 ~ 4	F	2
Eastern Hokkaido:Identifying Opportunities in a Region of Declining Population		L	
Advanced (recommended for 3 ~ 4 Year students)			
Food and Health 1	1 ~ 4	F	2
Food and Health 2		L	
Molecular Biology and Biotechnology		L	
Agro-Environmental Engineering ※3		L	
Planning and Design of Landscape Architecture ※2		F	
Vegetable Production Technologies for International Cooperation		F	
Global Food Systems		F	
Agricultural Trade		L	
Ecology and Food Production		L	
Comparative Food Production Technologies		L	
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency ※2		L	
Common (recommended for 1 ~ 4 Year students)			
Agricultural Scientific English for International Cooperation	1 ~ 4	L	2
Field Study of Food and Environment ※4		L	
Sustainable Agriculture in Asia ※4		L	
Group Approach to Food and Environment ※5		L	

【留意事項】
- ※1 実習を伴う。
- ※2 視察を行う。
- ※3 前期の「Environment and Agriculture」を履修していることが望ましい。
- ※4 7月頃に学生ポータルサイトに募集案内を掲示するので確認すること(担当課:国際協力センター)。
  開講形態は、10月に1週間の集中実習を行う。該当する2科目(※4)を同時に履修すること。
- ※5 「世界学生サミット」の座長又は発表者のみが履修できる。

全学共通科目

日本語

○　日本語は，外国人留学生及び帰国子女に限り履修することができます。

○　日本語の修得単位数は，学則第15条の３第２項に規定するとおり，他学科聴講・他学部聴講により修得した単位の他、大学間聴講・英語による専門プログラムとの合計修得単位のうち30単位までを選択科目の単位として卒業要件単位に加えることができます。

○　履修手続き方法は，「履修のてびき」（別冊）を参照してください。

科目区分	授業科目	単位数	週時間数				備考
			一年次	二年次	三年次	四年次	
選択科目	基礎日本語(一)	2	F2				履修することができる者は，外国人留学生及び帰国子女に限る
	基礎日本語(二)	2	F2				
	初級日本語(一)	2	F2				
	初級日本語(二)	2	F2				
	初級日本語(三)	2	L2				
	初級日本語(四)	2	L2				
	中級日本語(一)	2	F2				
	中級日本語(二)	2	F2				
	中級日本語(三)	2	L2				
	中級日本語(四)	2	L2				
	上級日本語(一)	2		F2			
	上級日本語(二)	2		F2			
	上級日本語(三)	2		L2			
	上級日本語(四)	2		L2			

教職・学術情報課程

教　職　課　程
学術情報課程

教　職　課　程

教職課程履修にあたっては，教員免許状取得のための単位だけを修得すればよいという安易な考え方ではなく，学校教育は新しい時代を担う生徒の育成にかかわるものであるだけに，教員になることを前提として資質の向上を図るよう取り組んでください。

1　本学で取得できる教員免許状

本学で取得できる教員免許状は，下記のとおりです。

(1) 各学部

○中学校・高等学校教諭免許状

学　　科	中　学（一種）	高　校（一種）
農学部		
農学科	理科	理科・農業
畜産学科	理科	理科・農業
バイオセラピー学科	理科	理科・農業
応用生物科学部		
バイオサイエンス学科	理科	理科・農業
生物応用化学科	理科	理科・農業
醸造科学科	理科	理科
栄養科学科	理科	理科
地域環境科学部		
森林総合科学科	理科・技術	理科・農業
生産環境工学科	理科・技術	理科・農業
造園科学科	理科	理科・農業
国際食料情報学部		
国際農業開発学科	理科	理科・農業
食料環境経済学科	社会	地歴・公民・農業
国際バイオビジネス学科	社会	情報・農業

○栄養教諭免許状

学　　科	
応用生物科学部	
栄養科学科	一種免許状

(2) 大学院農学研究科

専　　攻	課　程	中学専修	高校専修
農学専攻，畜産学専攻，バイオセラピー学専攻 林学専攻，農業工学専攻，造園学専攻 国際農業開発学専攻，農業経済学専攻 国際バイオビジネス学専攻	博士前期	—	農　業
バイオサイエンス専攻，農芸化学専攻，醸造学専攻 食品栄養学専攻		理　科	理　科

２　教員免許状取得のための基礎資格および最低修得単位数

教員免許状を取得するためには，教育職員免許法第５条（別表１・２）の規定により定められた基礎資格と大学における教職に関する科目，教科（ないし栄養に係る教育）に関する科目，教科又は教職に関する科目等について所定の単位を修得しなければなりません。

注意しなければならないことは，本学を卒業するために必要な条件と教員免許状取得に必要な条件とはそれぞれ別な基準に属していることです。あらかじめ自己の進路を充分に考えて教職課程を最後まで履修する決意が必要です。また，教職課程を履修する場合には，在学中の学習計画を十分に立てておくことが必要です。

別表１　教育職員免許法第５条別表第１（抜粋）

所要資格／免許状の種類		基礎資格	大学において必要とする最低修得単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	31	32
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	31	8
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること	10	21	4
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること	20	23	40
	一種免許状	学士の学位を有すること	20	23	16

※中学校・高等学校一種免許状は，上記表の「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」について，大学において必要とする最低必要修得単位数を満たし，免許教科ごとに59単位修得しなければなりません。

別表２　教育職員免許法第５条別表第２の２（抜粋）

所要資格／免許状の種類		基礎資格	大学において必要とする最低修得単位数		
			栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目	栄養に係る教育又は教職に関する科目
栄養教諭	一種免許状	学士の学位を有すること，かつ，管理栄養士の免許を受けていること。	4	18	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること及び栄養士の免許を受けていること	2	12	

3　教職課程の内容

本学の教職課程の目的は，その建学の精神に則り，教員としての主要な資格要件を満たす卒業生を社会に送りだすことにあります。別表１に基づき，「教職課程履修案内」（７月の履修申込時に配付）にて取得単位数について解説します。

教職課程の履修申込みについては，履修のてびきを参照の上登録を行います。教職課程履修希望者は，所属学科の授業科目配当表（p.115～p.151）の「教職欄」を参照して，「必」のついている科目および「教職に関する科目」を履修してください。

(1) 教員免許状取得のための前提条件

教育職員免許法施行規則第66条の６により，教員免許状を取得するためには以下の科目を必ず修得しなければなりません。

授　業　科　目	単位数
英語（一）	2
情報基礎（一）	2
日本国憲法	2
スポーツ・レクリエーション（一）	1
スポーツ・レクリエーション（二）	1

(2) 教科に関する科目

修得しなければならない科目，および修得しなければならない単位数は免許の教科ごとに定められています。詳しくは「教職課程履修案内」に記されています。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目ならびにその単位数はP.162の表のとおりです。

	授業科目	単位数	中学	高校	栄養
必修科目	教職概論	2	必	必	必
	教育原理	2	必	必	必
	教育心理学	2	必	必	必
	教育課程論	2	必	必	必
	特別活動論	2	必	必	必
	教育方法論	2	必	必	必
	生徒・進路指導論	2	必	必	—
	教育相談論	2	必	必	必
	道徳教育論	2	必	選択	必
	教職実践演習（中・高）	2	必	必	—
	教育実習Ⅰ	3	必	必	—
	教育実習Ⅱ	2	必	選択	—
	生活指導論	2	—	—	必
	教職実践演習（栄養教諭）	2	—	—	必
	栄養教諭実習	2	—	—	必
選択必修科目Ⅰ	教育制度概論	2	一科目必修		
	教育行政論	2			
選択必修科目Ⅱ	理科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅲ	2	必	必	—
	理科教育法Ⅳ	2	必	必	—
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	必	必	—
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	必	必	—
	農業科教育法Ⅰ	2	—	必	—
	農業科教育法Ⅱ	2	—	必	—
	技術科教育法Ⅰ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅱ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅲ	2	必	—	—
	技術科教育法Ⅳ	2	必	—	—
	情報科教育法Ⅰ	2	—	必	—
	情報科教育法Ⅱ	2	—	必	—
選択科目	理科教育法Ⅴ	2	選択	選択	—
	農業科教育法Ⅲ	2	—	選択	—
	技術科教育法Ⅴ	2	選択	—	—

＊— 印の科目は履修できません。
＊選択必修科目Ⅰは，いずれかの科目が必修となります。２科目とも履修した場合は，「教科又は教職に関する科目」としてカウントされます。
＊選択必修科目Ⅱは，取得する免許教科ごとに修得しなければなりません。

(4) 教科又は教職に関する科目

下表の１科目です。「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて履修した単位を当てることができます。

授　業　科　目		単位数
福祉概論（中学校免許取得者は必修）		2
「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位		
合　計	中学	８単位以上
	高校	16単位以上

(5) 栄養に係る教育に関する科目

栄養に係る教育に関する科目ならびにその単位数は下表のとおりです。

授　業　科　目	単位数
栄養教諭論（一）	2
栄養教諭論（二）	2

4　受講料

１免許教科　120,000円

２免許教科　140,000円

３免許教科　160,000円

４免許教科　180,000円

注　意

(1) この受講料は教育実習費・栄養教諭実習費を含んでいます。

(2) 中学理科，高校理科を履修する場合は，120,000円となります。

(3) 受講料は一括払いで卒業するまで有効です。

(4) 納金した受講料については返金しません。

5　教職課程授業科目配当表

必修選択別		授業科目	単位数	週時間数 一年次	二年次	三年次	四年次	開講学科 農学	畜産	セラピー	バイオ	化学	醸造	栄養	森林	工学	造園	開発	経済	ビジネス	備考
教職に関する科目	必修科目	教職概論	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育原理	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育心理学	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育課程論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		特別活動論	2			L2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育方法論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生徒・進路指導論	2			F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育相談論	2			F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		道徳教育論	2			F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修
		教育実習Ⅰ	3			2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中高必修
		教育実習Ⅱ	2			2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修
		教職実践演習（中・高）	2				L2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生活指導論	2			L2								○							栄養教諭用
		栄養教諭実習	2			2								○							栄養教諭用
		教職実践演習（栄養教諭）	2				L2							○							栄養教諭用
	選択必修科目Ⅰ	教育制度概論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教育行政論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	選択必修科目Ⅱ	理科教育法Ⅰ	2		F2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		理科教育法Ⅱ	2			F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		理科教育法Ⅲ	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		理科教育法Ⅳ	2			L2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2			F2													○	○	
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2			L2													○	○	
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2			F2													○	○	
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2			L2													○	○	
		農業科教育法Ⅰ	2			F2		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
		農業科教育法Ⅱ	2			L2		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
		技術科教育法Ⅰ	2			F2									○	○					
		技術科教育法Ⅱ	2			L2									○	○					
		技術科教育法Ⅲ	2			F2									○	○					
		技術科教育法Ⅳ	2			L2									○	○					
		情報科教育法Ⅰ	2			F2														○	
		情報科教育法Ⅱ	2			L2														○	
	選択科目	理科教育法Ⅴ	2				F2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		農業科教育法Ⅲ	2				F2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
		技術科教育法Ⅴ	2				F2								○	○					
教科に関する科目	理科	物理学実験（コンピュータ活用を含む）	1			L2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		化学実験（コンピュータ活用を含む）	1		F2			○							○	○	○	○			
		生物学実験（コンピュータ活用を含む）	1		L2							○	○	○	○	○	○	○			
		地学実験（コンピュータ活用を含む）	1			F2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	社会	倫理学	2		L2														○	○	
		哲学	2		F2														○	○	
	地理歴史	人文地理学	2		F2														○		
		自然地理学	2		L2														○		
	公民	倫理学	2		L2														○		
		哲学	2		F2														○		
	農業	職業指導	2			L2		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭	栄養教諭論（一）	2			F2								○							
		栄養教諭論（二）	2			L2								○							
教科又は教職に関する科目		福祉概論	2		L2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中学必修

学術情報課程

1　学術情報課程とは

本課程の教育は，企業の情報部，資料部，特許部，その他の情報部門，研究開発部門および営業部門，ならびに公共機関としての博物館，資料館，科学館，児童館，公共図書館，情報センター等において，科学技術に関する情報の調査・収集・整理・保管・検索・提供等にあたる技術者となる基礎を習得させることを目的にしています。

大学卒業後，研究，技術，営業その他どんな仕事に従事する場合でも非常に役立つものです。この基礎能力は，情報化時代といわれる今日，コンピュータ等の機器は急速に進歩しています。これらのハードを利用する技術を持った人材の養成は，大学その他において盛んに行われています。しかし，現在わが国では，科学技術情報の調査から提供までを担当できる専門家が不足し，その養成教育は大学における教育の盲点の一つと言えます。

情報を取扱う人材養成は，理科学系の大学において，ほとんど行われていません。その結果，企業や公共機関において，科学技術情報を取扱う人材の確保に困難を生じています。本課程は，全学科学生に開放設置され，社会の要求にこたえるために開設されました。この課程を修了すると学芸員または司書の資格が与えられます。

2　学芸員と司書

学芸員は，博物館法によって登録または指定された博物館，動物園，植物園，水族館，美術館など（以下「博物館」という）において，調査・研究・展示等の業務を担当する専門職員です。なお，博物館には，学芸員をおくことが法律で義務づけられています。有資格者の就職先としては，資料館，植物園，動物園，水族館，博物館，その他の社会教育施設，展示企業などがあります。さらに近年，県市町村立の博物館が多くなり，これらを管轄する教育委員会では，学芸員資格を有する者を採用する傾向が多くなってきています。

司書は，図書館法によって定められた図書館に置かれる専門職員です。図書館は，図書，記録，資料を収集し，それを整理・保存して利用に供し，教育，調査研究，レクリエーション等に資することを目的とする施設で，司書はこれらの専門業務を行う職員です。有資格者の就職先としては，図書館，官公庁および企業等の研究開発部門，資料室などがあげられます。

3　資格取得について

「学芸員資格」

博物館法第５条第１号で学芸員となる資格を有する者を「学士の学位を有する者で，大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」と規定しています。この規定に基づいて，本学では卒業要件を満たし所定の単位（P.166参照９科目19単位）を修得した者に対し，資格の証明として「博物館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

「司書資格」

図書館法第５条２号で司書となる資格を有する者を「大学を卒業した者で大学において図書館に関する科目を履修したもの」と規定しています。この規定に基づいて，本学では卒業要件を満たし所定の単位（P.166参照必修11科目22単位及び選択２科目２単位以上，合計24単位以上）を修得した者に対し，資格の証明として「図書館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

４　履修科目について

平成24年４月１日改正

資　格	開　講　科　目		履修年次	単　位
学芸員	必修	生涯学習概論	3	2
		博物館概論	2	2
		博物館経営論	3	2
		博物館資料論	2	2
		博物館資料保存論	3	2
		博物館展示論	3	2
		博物館情報・メディア論	3	2
		博物館教育論	3	2
		博物館実習	4	3
司　書	必修	生涯学習概論	3	2
		図書館概論	2	2
		図書館情報技術論	3	2
		図書館制度・経営論	3	2
		図書館サービス概論	2	2
		情報サービス論	2	2
		児童サービス論	2	2
		情報サービス演習	4	2
		図書館情報資源概論	3	2
		情報資源組織論	3	2
		情報資源組織演習	4	2
	選択	図書館基礎特論	3	1
		図書館サービス特論	3	1
		図書館情報資源特論	3	1
		図書館総合演習	3	1
		図書館実習	4	1

① 学芸員科目の博物館実習は，４年次に週２コマの学内実習（隔週）と10日間の館務実習を実施する。

② 司書科目の情報サービス演習（２単位）及び情報資源組織演習（２単位）はそれぞれ60時間の演習を行う。

③ 集中講義は夏季休業期間中に実施する。

④ 各講義の最終日に試験を実施する。夏季集中講義は再試験を行わない。

⑤ 学芸員科目は，３年次終了時に未修得の科目がある場合は４年次に博物館実習を履修できない。

⑥ 司書科目は３年次終了時に図書館概論，情報サービス論，図書館サービス概論，図書館情報技術論，情報資源組織論，図書館情報資源概論を未修得の場合は，４年次の情報サービス演習，情報資源組織演習を履修できない。

⑦ 司書科目の図書館実習は，３年次終了時に必修科目18単位を取得できない場合は履修することができない。また，図書館実習（１単位）は45時間以上の実習を行う。

◎　履修方法についての説明会

学術情報課程の履修登録および単位取得についての説明会は１年次後学期（11月）に実施しますので，履修希望者は必ず説明会に出席し，所定の期日までに履修手続を行ってください（履修登録は１年次限りです）。

5　履修費用について

資　　格	金　額
学芸員資格・司書資格(単修)	130,000円
学芸員資格・司書資格(併修)	180,000円

短期大学部

授業科目の概要

授業科目は，本学の研究及び教育目標を達成するために，次のように分けられ各年次に配当されています。

1　科目の区分

(1) 必修科目：必ず修得しなければならない科目

(2) 選択必修科目：限定された科目群の中から，指定された単位数を修得しなければならない科目

(3) 選択科目：学生の意思により選択し，卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目

2　総合教育科目

(1) 全学共通

① 導入科目：大学での学習と学生生活のための基礎的技能を涵養するための科目

② 課題別科目：農学を多角的視点から理解する学科横断的な科目

③ 英語科目：全学的な英語力の向上のための科目

④ スポーツ関係科目：スポーツを通して健全な身体と体力，精神力を養うための科目

⑤ 就職準備科目：就職への意識高揚と社会に出て役立つ知識を習得するための科目

⑥ 演習科目：少人数教育による思考力，ディスカッション・プレゼンテーション能力を涵養するための科目

(2) 学部共通

① 人間関係科目：社会道徳と倫理観を涵養するための科目

② 社会関係科目：社会の仕組みの基礎知識を得るための科目

③ 自然関係科目：自然科学についての幅広い視野と探究心を養うための科目

④ リメディアル教育科目※：基礎知識向上のための補講科目

※成績評価（「秀」評価を除く）されるが，卒業要件単位及びGPAには含まれません。

3　専門教育科目

(1) 学部専門

① 専門共通科目：農学の基礎概念，知識を総合的に把握するための科目

② 創生型科目：分野横断包括型の教育プログラムなど農学的知識と経験を応用し，グループで課題に取組む科目

③ 学際領域科目：学生の興味と複数学科の教育目標に対応する科目

(2) 学科専門

① 専門基礎科目：専門を理解するための基礎となる科目

② 専門コア科目：学生が主体的に専門の課題を探求し，解決する能力と知識を養成するための科目

③ 総合化科目：卒業論文，総合演習など

4　資格取得に関する授業料目

学術情報課程科目：司書資格を取得するための科目

単　位　制

大学における単位制とは，授業科目を履修し，その授業科目に与えられた単位を試験等に合格することによって修得する制度です。卒業までに定められた単位数を修得しなければなりません。

各授業科目の単位数は，授業の方法に応じて異なり，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学習等を考慮して次の基準により定められています。

［単位計算基準］

区　　分	単位数	授業時間
講義・演習（外国語を含む）	2単位	2時間（週1コマ）×15週（半期）
実験・実習・研修・スポーツレクリエーション	1単位	2時間（週1コマ）×15週（半期）

※1時限（1コマ＝2時間）は90分授業で実施します。

授　　業

1　学期制（セメスター制）

本学では１年間を前学期と後学期の２学期に分け，それぞれの学期の中で各学期配当科目の授業・試験・成績評価を行います。したがって各学期の最終評価が不合格となった科目を履修する場合は，翌年度に再度履修し，授業を受講することになります。

2　授業時間

本学の授業は，90分を１時限として行います。なお，授業の時間区分は次のとおりです。

時限	１時限	２時限	昼休み	３時限	４時限	５時限	６時限
時間 （90分間）	9：00 ～ 10：30	10：40 ～ 12：10	12：10 ～ 13：00	13：00 ～ 14：30	14：40 ～ 16：10	16：20 ～ 17：50	18：00 ～ 19：30

※短期間に行う集中授業及び隔週で行う授業もあります。

3　出席の重要性

授業は，教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問する場であり，学生生活の基本となるものです。また，単位制の基本となる授業時間について定めがあるように，出席状況は成績評価の重要な要素になります。なお，授業を３分の１以上欠席した場合は，定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

4　欠席届

授業をやむを得ない事由で欠席する場合または欠席した場合は，教務課窓口に置いてある「欠席届」に必要事項を記入の上，授業担当者に直接提出してください（欠席届は学生ポータルサイトからもダウンロードできます）。

なお，学校保健法に規定された伝染病による欠席届は，専用の様式があります。詳細は，p.50の「健康管理」を参照してください。

5　休講

休講の場合は事前に掲示により伝達します。休講の掲示がなく，30分経過しても授業が開始されない場合は，関係窓口で確認してください（休講情報は，学生ポータルサイトでも確認できます）。

6　補講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合には，補講授業を実施することがあります。この場合，授業担当者が指示するほか，学生ポータルサイト・掲示により伝達します。

7　学生による授業評価

本学では授業を改善するために，「学生による授業評価」を実施しています。より良い授業を行うことは授業担当者の責務ですが，内容がきちんと受講生に伝わっているか，理解されているか，あるいは「わかりやすいか」を把握（測定）するためには授業評価を実施して受講生の声を集める必要があります。また，大学全体の授業と比較して自分の授業がどうであるかを把握するためにも授業評価は有効です。より良い授業は，授業担当者と受講生が協力して創り上げるものであるため，授業評価の実施に協力してください。

また，授業に対して意見がある場合は教務課窓口に置いてある「授業に意見」という用紙を用いて提出することができます。これは日ごろ授業を受けていて感じること，改善してほしいことを大学に伝えるためのものです。提出された意見は十分検討し，改善を図ることになっています。学生ポータルサイトには，大学への要望・提案および授業・研究室，学生生活上の悩み等をメールで受け付ける窓口を開設していますので利用してください。

履　　修

1　履修とは

毎年度はじめに１年間の受講科目を各自が決定し，実際の授業に出席する一連の流れをいいます。

2　履修科目決定までの流れ

(1) 履修計画

履修登録を行うにあたって，１年間の履修計画を立てなければなりません。次の点を考慮し計画してください。

① 各学科の「授業科目配当表」(※後掲)，「講義要項（シラバス)」(※別冊）を熟読し，カリキュラムの概要を把握してください。

② **必修科目**は，決められた年次・学期に履修してください。

③ **選択必修科目**は，指定された科目の中から，決められた単位を満たすように履修してください。

④ **選択科目**は，将来志向や資格取得などを考え，卒業要件を満たすように履修してください。

⑤ 進級基準及び卒業基準を超えるように，履修計画を立ててください。

(2) 履修登録

履修登録とは，各自が受講しようとする授業科目について，その意思表示をすることです。また，履修登録は１年間あるいは各学期の履修計画を決める上で最も重要な手続きであり，単位の修得及び卒業には欠かすことのできないものです。履修登録を安易に考え，手続きを怠ったことにより無駄な時間を過ごしてしまうことになりかねません。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って履修登録してください。

なお，履修登録の詳細は「履修のてびき」(別冊）に記載してあります。これを参照し履修登録してください。

(3) 履修の確定

５月中に「履修確定表」を学生ポータルサイトに開示します。この表に記載されている授業科目が当該年度の登録された科目です。登録されていない科目がある場合は，履修修正期間内に手続きしてください。

※後学期配当科目については，後学期授業開始後に登録の変更を認めます。

詳細については「履修のてびき」で確認してください。

3　履修上の注意事項［取決め事項］

(1) 履修登録単位数の制限について

単位を得るためには，定められた時間の学習が必要です。例えば，講義科目の場合，２単位を修得するためには，90時間の学習が必要であり，１回の授業において２時間（２時間×15週間＝30時間）学び，１週間に４時間（４時間×15週間＝60時間）の予習・復習を行うことにより，単位が与えられます。このように履修登録単位数と学習時間は連動しており，登録する単位数が多ければ１週間に学習する時間は比例して増加することになります。

本学では履修登録を行うにあたって，次のように登録できる単位数を制限しています。１週間に学習できる時間数を考えて履修登録してください。また，学術情報課程科目及びリメディアル科目については，この履修登録単位数の制限から除外します。

１年間に履修登録できる単位数の上限……49単位

各学期に履修登録できる単位数の上限……25単位

例えば前学期に25単位登録した場合には，後学期に登録できる単位数は24単位になります。

※履修登録できる単位数とは，あくまでも登録した科目の総単位数であり，修得できた総単位数ではありませんので，注意してください。

(2) 有料科目について

一度履修して不合格になった科目を再び履修する場合（再履修）は有料になり，１科目につき所定の金額を納付することになります。詳細は「履修のてびき」で確認してください。

(3) 他学科聴講・大学間聴講について（詳細は「履修のてびき」を参照）

他学科聴講とは他の学科で開講している講義科目を履修すること，大学間聴講とは東京農業大学の講義科目を履修することです。

・修得した単位は，他学科聴講・大学間聴講を合わせて15単位まで，卒業要件単位に加えることができます。また，在学中に履修できる単位も合計15単位までです（**合否に関わらず，履修した時点で単位数をカウントします**）。

・実験・実習・演習・研修科目・栄養学科専門教育科目の資格必修科目は履修できません。

・他学科聴講は，上級学年配当の科目は履修できません。

・大学間聴講は，必修・選択必修・英語による専門教育プログラム関係の科目，英語科目，実験・実習・演習科目，学情科目及び栄養科学科専門教育科目の資格必修科目は，履修できません。

試　　験

授業科目の履修状況を評価し，単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては，レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示に従ってください。

受　験　資　格

(1) 当該授業科目が履修登録されていること
(2) 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること（原則として授業日数の２/３以上）
(3) 当該学期までの学費その他の納付金を納入していること
※休学期間中に試験を受けることはできない

1　定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は，試験開始１週間前に掲示板・学生ポータルサイトで発表します（実験・実習・演習科目は，原則として「定期試験」を実施しません）。

なお，定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は，指定された期日（試験時間割発表時に掲示）までに欠席の事由（当日の状況など）を証明する書類を持参して試験欠席の手続きを行って下さい。この届出により，追試験の受験を認めます。欠席事由と添付提出書類は次のとおりです。

欠　席　事　由	提　出　書　類
病気	医師の診断書（試験当日の健康状態を記載のものに限る） または病院の領収書（日付及び氏名が記載されたもの）
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引（三親等までの親族の死亡）	死亡に関する書類（会葬通知等）
就職試験等	就職活動証明書（キャリアセンターで証明を受けること） ※事由によっては証明が受けられない場合がある。必ず試験前，早めに窓口で確認すること。なお，企業説明会は認められないので注意すること。
災害（水害・火災等）	官公庁による被災証明書

※詳細は関係窓口で確認してください。

2　追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち，指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して各学期末に行う試験です（無料）。従って，本人の不注意による試験の欠席および証明する書類がない場合は，追試験の対象となりません。

※追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

3　定期試験に関する注意事項

○　試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意してください。

○　学生証を所持していない学生は受験できません。なお，当日忘れた場合は，学生課にて仮学生証の発行を受けてください（有料・当日限り有効）。

○　受験科目が重複した場合は，事前に申し出てください。

○　試験場への入場は，試験開始後20分までとします（試験開始後は，退場できません）。

○　試験場あるいは受験科目・授業担当者の間違い，無記名答案は受験しても無効となります。

○　答案は白紙であっても必ず提出してください。

○　試験場においては，すべて監督者の指示に従わなければなりません。

○　その他試験に関しては，関係窓口へ問い合わせてください。

［試験時間］

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9：00 ～ 9：45	10：00 ～ 10：45	11：00 ～ 11：45	12：00 ～ 12：45	13：00 ～ 13：45	14：00 ～ 14：45

時限	7時限	8時限	9時限	10時限	11時限
時間	15：00 ～ 15：45	16：00 ～ 16：45	17：00 ～ 17：45	18：00 ～ 18：45	19：00 ～ 19：45

4　不正行為について

不正行為（カンニング等）が発覚した場合は，当該学期の評価をすべて無効（未評価）とします。

5　試験に代えて行うレポート提出時の注意事項

レポートの提出は，担当教員が授業中に提出を求める場合，担当教員が締切期日を指定して研究室等で受け付ける場合，窓口で受け付ける場合等があります。

いずれの場合も**提出締切期限厳守**となっていますので注意してください。レポートの提出に際しては，原則として次の注意事項に従ってください。

○　表紙を含めサイズは，授業担当者の指示がない限りA４にしてください。

○　必要事項（科目名・担当者・課題・学科・学年・学籍番号・氏名）をもれなく記載してください。

○　原則として左上角をホッチキスで必ず止めてください。ただし，授業担当者の指示がある場合はそれに従ってください。

○　定められた場所に提出してください。

○　提出期限は厳守してください。

○　表紙のないレポートや，記載内容に不備があるレポートは，無効になる場合があります。

＜レポート表紙の様式＞　　A4サイズ

科目名：＿＿＿＿＿＿　担当者：＿＿＿＿＿＿

＜課題＞

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学科：＿＿＿＿　学年：＿＿＿　学籍番号：＿＿＿＿

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

成　　績

1　成績評価

成績評価は，「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で，「不可」・「未評価」は不合格です。成績評価の基準は，次の通りです。

成績評価基準のガイドライン

判　定	成　績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合　格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績（履修者の５％以内）
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不　可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

2　GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して，適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため，GPAを算出しています。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は，①「卒業要件に算入できる科目」であって，かつ②「５段階評価によって成績を認定する科目」とし，③「学生が履修登録した科目」とします。したがって，他学科聴講科目などは含め，学術情報課程及び認定科目は除かれます。

(3) GPAの算出

［学期ごとのGPAの算出方法］

学期ごとのGPA算出は，次の式によります。

$$\frac{\text{（当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP×その科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注１．GPA対象科目で不可（D）及び未評価（F）科目は，分母に含みます。

注２．通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注３．「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は，再履修した当該学期の対象科目に含め，GPAを算出します。

注４．前項の場合，「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

［通算GPAの算出方法］

通算GPAは，在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくもので，その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{（在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP×その科目の単位数）の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注１．通算GPAは毎学期末に算出します。

注２．再履修した場合は１科目としてカウントします（ダブルカウントしない）。

注３．再履修した科目のGPは，最新の評価に基づく値で算出します。

３　履修成績表

各学期に履修した授業科目の成績は，次の学期の授業開始前に履修成績表として学生ポータルサイトにて開示します。

４　成績証明書

成績証明書には，「秀」・「優」・「良」・「可」の合格した授業科目（科目名・単位数・評価）と通算GPAを記載し，不合格の授業科目は記載しません。

５　成績相談

学期毎の成績発表後に実施します。詳細は「履修のてびき」で確認してください。

進　　級

１　１年次から２年次への進級基準（休学者を除く）

１年次終了時に卒業要件に関わる修得単位数が20単位未満の場合には，２年次への進級を認めません（原級または学則第36条第１項第２号に該当する退学となります）。

２　進級者の発表

年度末（３月中旬）に進級確定者を掲示板で発表します。

在 学 期 間

本学に在学できる期間は，休学期間を除いて４年です。

卒業・学位記

１　卒業要件

卒業に必要な単位数は「62単位」です。

［学科別卒業要件単位数］

学　科　名	必修科目	選択必修科目	選択科目	合　　計
生物生産技術学科	29	12	21	62
環 境 緑 地 学 科	35	—	27	62
醸　造　学　科	47	—	15	62

※詳細については，学科別授業科目配当表を参照のこと。

2　学位記

卒業生には，次のとおり短期大学士の学位を授与します。また卒業時に学位記を授与します。

学　　科	学　　位
生物生産技術学科	短期大学士（生物生産技術学）
環境緑地学科	短期大学士（環境緑地学）
醸造学科	短期大学士（醸造学）

3　９月卒業

次の各項目をすべて満たす場合は，９月30日付で卒業することができます。

・９月30日までに卒業要件単位を満たしていること（９月30日までに卒業論文の評価が合格になった場合を含む）。

・９月30日で２年間在学していること。

・２年次を通算で１年間以上在籍していること。

・該当学生が９月卒業を希望していること。

そ　の　他

1　学生への連絡と掲示

学生への通知や連絡は，学生ポータルサイト・掲示によって行います。休講，補講，教室変更，時間変更，手続書類不備の呼出し等を掲示しますので，必ず毎日学生ポータルサイトを見る習慣をつけてください。

※電話による問い合せ（行事予定・試験・休講等）は受け付けていません。学生ポータルサイトで確認するか、関係窓口で直接聞いてください。

2　窓口での相談・質問等

履修に関する相談，試験に関する質問，レポートの提出，呼び出し応答など修学に必要な事項の相談・質問は，窓口へ申し出てください。

なお，提出期限のある手続き（レポート提出等）は，受付期間・時間を厳守してください（期限に遅れた場合は受け付けません）。

窓口受付時間（夏季休業等授業を実施していない期間中は時間を変更するので確認のこと）

〔平日〕世田谷キャンパス　8：30～19：30

※時間外は受け付けません。

授業科目配当表

短生

生物生産技術学科

平成22年４月改正

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	週時間数 二年次
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2	
			必	情報基礎(一)	2	F2	
				情報基礎(二)	2	L2	
	学部共通	人間関係科目		生命倫理	2		F2
				心の構造	2		F2
		社会関係科目		日本国憲法	2		L2
				現代の環境問題	2		F2
		自然関係科目		生物学	2	F2	
				化学	2	F2	
				統計学	2	L2	
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2		
				特別講義(二)	2		
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2	
		英語科目	必	英語(一)	2	F2	
				英語(二)	2	L2	
				英語(三)	2		F2
				英語(四)	2		L2
		スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2	
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2	
		就職準備科目		キャリアデザイン	1	L1	
				インターンシップ	1	L1	
				ビジネスマナー	1	L1	
		演習科目	必	フレッシュマン演習	1	F1	
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2	
				基礎化学	2	F2	
				文章表現	2	F2	
専門教育科目	学部専門	共通科目		食農体験実習	2	F4	
				農産物マーケティング論	2		L2
		創生型科目		マイスターセミナー	2	L2	
		学際領域科目		食の安全と信頼	2	L2	
				みどりと農業生産(含畜産物)	2	F2	

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	週時間数 二年次
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目	必	※生物生産概論	2	F2	
			必	植物のからだ	2	F2	
			必	※動物のからだ	2	F2	
			必	生物産業マイスターセミナー	2		F2
			必	生物産業インターンシップ	2	2	
			必	※専門実習(一)	2	4	
			必	農学実験	2	4	
		専門コア科目	必	環境共生型農業論	2		L2
			必	農業技術開発論	2		L2
			選必A	作物生産学	2		F2
				花生産学	2		F2
				果物生産学	2		F2
				野菜生産学	2		F2
				植物育種学	2		L2
				※家畜生産学	2		F2
			選必B	分子遺伝学	2	L2	
				※バイテク概論	2	L2	
				※動物育種・繁殖学	2	L2	
				土壌肥料学	2	L2	
				農業気象学	2	F2	
				実験動物学	2		F2
				農産加工・利用学	2		L2
				動物衛生学	2		F2
				バイオセラピー論	2		L2
		総合化科目		専門研究	4		8
			必	※専門実習(二)	2		2
			必	卒業論文	2		4

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。

卒業要件単位数			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
29単位	12単位	21単位以上	62単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
　1　他学科聴講・大学間履修で修得した単位のうち15単位
　2　選択必修科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位

●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
　　2　「専門教育科目」の選択必修科目Ａおよび選択必修科目Ｂからそれぞれ３科目以上を修得しなければならない。
　　3　授業科目欄の※は、家畜人工授精師講習の一部免除を含む学科目である。

環境緑地学科

平成22年４月改正

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	週時間数 二年次
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2	
			必	※情報基礎(一)	2	F2	
				※情報基礎(二)	2	L2	
	学部共通	人間関係科目		生命倫理	2		F2
				心の構造	2		F2
		社会関係科目		日本国憲法	2		L2
				※現代の環境問題	2		F2
		自然関係科目		生物学	2	F2	
				化学	2	F2	
				統計学	2	L2	
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2		
				特別講義(二)	2		
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2	
		英語科目	必	英語(一)	2	F2	
				英語(二)	2	L2	
				英語(三)	2		F2
				英語(四)	2		L2
		スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2	
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2	
		就職準備科目		キャリアデザイン	1	L1	
				インターンシップ	1	L1	
				ビジネスマナー	1	L1	
		演習科目	必	フレッシュマン演習	1	F1	
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2	
				基礎化学	2	F2	
				文章表現	2	F2	
専門教育科目	学部専門	共通科目		食農体験実習	2	F4	
				農産物マーケティング論	2		F2
		創生型科目		マイスターセミナー	2	L2	
		学際領域科目		食の安全と信頼	2	L2	
				みどりと農業生産(含畜産物)	2	F2	

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	週時間数 二年次
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目	必	※フィールド調査実習	2	L4	
			必	※フィールド観察実習	2	F4	
			必	※環境デザイン実習	2	F2	
			必	※CAD設計・GIS実習	2	L2	
			必	※環境緑地管理実習	2	F4	
			必	※環境緑地施工実習	2	L4	
			必	※測量学	2	F2	
			必	※測量実習	2	2	
				緑地生物の保全	2	F2	
				植物学基礎・分類	2	L2	
				※自然環境論	2	L2	
				※土壌及肥料学	2		L2
				フィールドトリップ	2		L2
		専門コア科目	必	※緑地生態学	2		F2
			必	※環境植栽学	2	L2	
			必	※緑地計画学	2		F2
				※公園緑地論	2	F2	
				緑地植物学	2	F2	
				野生生物管理論	2		F2
				※環境デザイン論	2	L2	
				庭園論	2	L2	
				花とガーデニング論	2		L2
				※緑地工学	2		L2
				※緑地工学実習	2		L4
				※緑地施工・材料学	2		L2
				植物保護学	2	L2	
				※都市田園計画論	2		L2
				樹木医学概論	2		L2
				造園技能実習	2		F4
		総合化科目	必	環境緑地専攻演習(一)	2		F2
			必	環境緑地専攻演習(二)	2		L2
			必	※緑化企業実習	2		L4
				造園施工実習	2		L4
				卒業研究	2		4
				緑化ビジネス研修	2		F4

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。

卒業要件単位数		
必修科目	選択科目	計
35単位	27単位以上	62単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
　他学科聴講・大学間履修で修得した単位のうち15単位
●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）１　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
　　２　※は，測量コース対象科目。

醸　造　学　科

平成22年４月改正

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	週時間数 二年次
総合教育科目	全学共通	導入科目	必	フレッシュマンセミナー	2	F2	
			必	情報基礎(一)	2	F2	
				情報基礎(二)	2	L2	
	学部共通	人間関係科目		生命倫理	2		F2
				心の構造	2		F2
		社会関係科目		日本国憲法	2		L2
				現代の環境問題	2		F2
		自然関係科目		生物学	2	F2	
				化学	2	F2	
				統計学	2	L2	
	全学共通	課題別科目		特別講義(一)	2		
				特別講義(二)	2		
				インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2	
				インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2	
		英語科目	必	英語(一)	2	F2	
				英語(二)	2	L2	
				英語(三)	2		F2
				英語(四)	2		L2
		スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション(一)	1	F2	
				スポーツ・レクリエーション(二)	1	L2	
		就職準備科目		キャリアデザイン	1	L1	
				インターンシップ	1	L1	
				ビジネスマナー	1	L1	
		演習科目	必	フレッシュマン演習	1	F1	
	学部共通	リメディアル教育科目		基礎生物	2	F2	
				基礎化学	2	F2	
				文章表現	2	F2	
専門教育科目	学部専門	共通科目		食農体験実習	2	F4	
				農産物マーケティング論	2		F2
		創生型科目		マイスターセミナー	2	L2	
		学際領域科目		食の安全と信頼	2	L2	
				みどりと農業生産(含畜産物)	2	F2	

分野			区分	授業科目	単位数	週時間数 一年次	週時間数 二年次
専門教育科目	学科専門	専門基礎科目	必	分析化学	2	L2	
			必	有機化学	2	L2	
			必	生物化学	2	L2	
			必	食品化学	2	L2	
			必	生理学	2		L2
			必	食品分析学実験	3	L6	
			必	食品微生物学	2	F2	
			必	食品微生物学実験	3	F6	
			必	調味食品学	2	F2	
			必	酵素化学	2	L2	
				醸造環境科学	2		F2
				生物化学工学	2		L2
		専門コア科目	必	清酒学	2	L2	
			必	酒類学実験	3		L6
			必	食品製造学	2		F2
			必	食品衛生学	2		F2
			必	調味料生産学実験	3		F6
			必	応用微生物学	2		F2
			必	蒸留酒製造学	2		F2
			必	醤油製造学	2	L2	
				酒類学	2	F2	
				洋酒製造学	2		F2
				味噌製造学	2		F2
		総合化科目		官能検査演習	2		L2
				醸造特別実習(一)	1	L2	
				醸造特別実習(二)	1		L2
				卒業研究	2		4

区分欄の必は必修科目、選必は選択必修科目を表す（空白は選択科目）。

卒業要件単位数		
必修科目	選択科目	計
47単位	15単位以上	62単位以上

●選択科目には次の単位を加算することができる。
　他学科聴講・大学間履修で修得した単位のうち15単位
●リメディアル教育科目の修得単位は、卒業要件単位に含めない。

注）1　週時間数欄のＦは前学期配当科目，Ｌは後学期配当科目を表す。
　　2　醸造特別実習（一）・（二）は，集中で行う。
　　3　醸造特別実習（二）は，醸造特別実習（一）の単位を修得した学生のみ履修できる。
　　4　基礎化学，基礎生物の履修者は，プレイスメントテストで選抜する。基礎化学履修者は，化学も履修しなければならない。同様に，基礎生物履修者は，生物学も履修しなければならない。
　　5　基礎化学履修者は，当科目の単位を修得しなれば，分析化学，有機化学，生物化学，食品化学を履修できない。
　　6　基礎生物履修者は，当科目の単位を修得しなれば，生物化学，生理学，食品微生物学を履修できない。

教職・学術情報課程

学 術 情 報 課 程

学術情報課程

1　学術情報課程とは

本課程の教育は，企業の情報部，資料部，特許部，その他の情報部門，研究開発部門および営業部門，ならびに各種図書館，情報センター等において，科学技術に関する情報の調査・収集・整理・保管・検索・提供等にあたる技術者を養成することを目的にしています。本課程での学習は，大学卒業後，研究，技術，営業その他どんな仕事に従事する場合でも非常に役立つものです。

情報化時代といわれる今日，コンピュータ等の機器は急速に進歩しています。これらのハードを利用する技術を持った人材の養成は大学その他において盛んに行われています。しかし，現在わが国では，科学技術情報の調査から提供までを担当できる専門家が不足し，その養成教育は大学における盲点の一つとなっています。

情報を取扱う人材養成は，人文・社会科学系の大学において，司書のためのコースで行われていますが，自然科学系の大学においてはほとんど行われていません。そのため，企業や公共機関において，科学技術情報を取扱う人材の確保に困難を生じています。本課程は，このような社会の要求にこたえるために開設されました。

2　司書とは

司書は，図書館法によって定められた図書館に置かれる専門職員です。図書館は，図書，記録，資料を収集し，それを整理・保存して利用に供し，教育，調査研究，レクリエーション等に資することを目的とする施設で，司書はこれらの専門業務を行う職員です。有資格者の就職先としては，図書館，官公庁および企業等の研究開発部門，資料室などがあげられます。

3　司書資格取得について

図書館法第５条２号で司書となる資格を有する者を「大学を卒業した者で大学において図書館に関する科目を履修したもの」と規定しています。

この規定に基づいて，本学では卒業要件を満たし所定の単位（必修11科目22単位及び選択２科目２単位以上，合計24単位以上）を修得した者に対し，資格の証明として「図書館に関する科目の単位修得証書」を授与します。

4　履修科目について

平成24年４月１日改正

資　格	開　講　科　目		履修年次	単　位
司　書	必修	生涯学習概論	1	2
		図書館概論	1	2
		図書館情報技術論	1	2
		図書館制度・経営論	1	2
		図書館サービス概論	1	2
		情報サービス論	1	2
		児童サービス論	1	2
		情報サービス演習	2	2
		図書館情報資源概論	1	2
		情報資源組織論	1	2
		情報資源組織演習	2	2
	選択	図書館基礎特論	2	1
		図書館サービス特論	2	1
		図書館情報資源特論	2	1
		図書館総合演習	2	1
		図書館実	2	1

① 必修科目11科目22単位と選択科目２科目２単位の合計13科目24単位以上を取得し，かつ短期大学士を得たものに対して，卒業時に授与する。

② 情報サービス演習（２単位）及び情報資源組織演習（２単位）はそれぞれ60時間の演習を行う。

③ 集中講義は夏季期間中に実施する。

④ 講義の最終日に試験を実施する。夏季集中講義科目の再試験は行わない。

⑤ １年次終了時に図書館概論，情報サービス論，図書館サービス概論，図書館情報技術論，情報資源組織論，図書館情報資源概論を未修得の場合は，２年次の情報サービス演習，情報資源組織演習を履修できない。

⑥ 図書館実習は，１年次終了時に必修科目18単位を取得できない場合は履修することができない。また，図書館実習（１単位）は45時間以上の実習を行う。

◎　履修方法についての説明会

学術情報課程の履修登録および単位取得についての説明会は１年次の４月に実施しますので，履修希望者は必ず説明会に出席し，所定の期日までに履修手続を行ってください（履修登録は１年次限りです）。

5　履修費用について

資　格	金　額
司書資格	130,000円